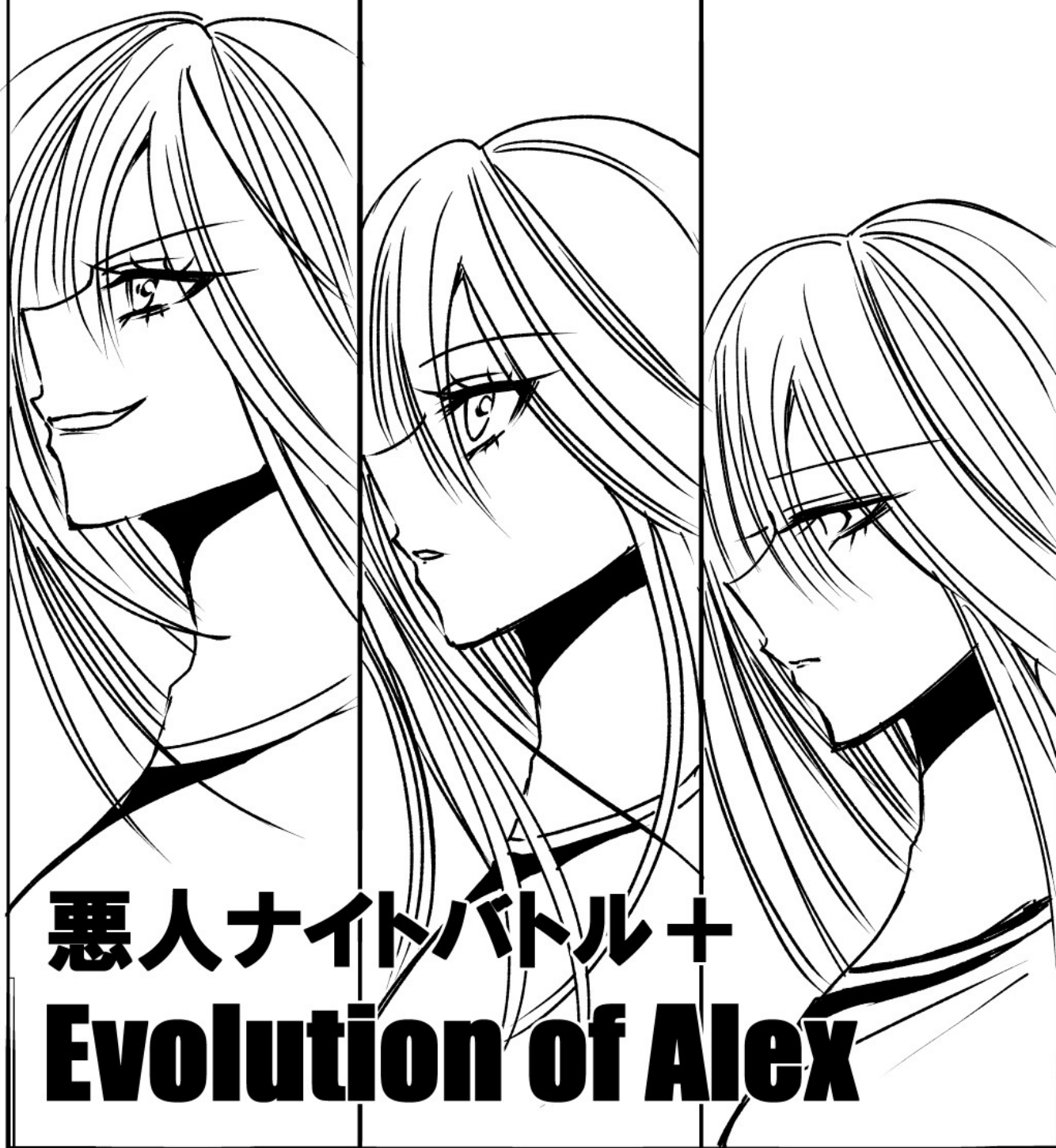
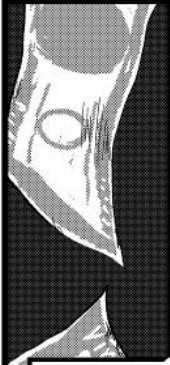






生きているだけで
金がかかる。



何でもかんでも
金、金、金……。



金が無ければ
尊厳すら無い。



また今日も
身体を
売り払う。



整った顔立ちの
おかげで
その辺のやつよりは
多少いい思いが
出来た。



本当は明日
生きていなくても
いい。

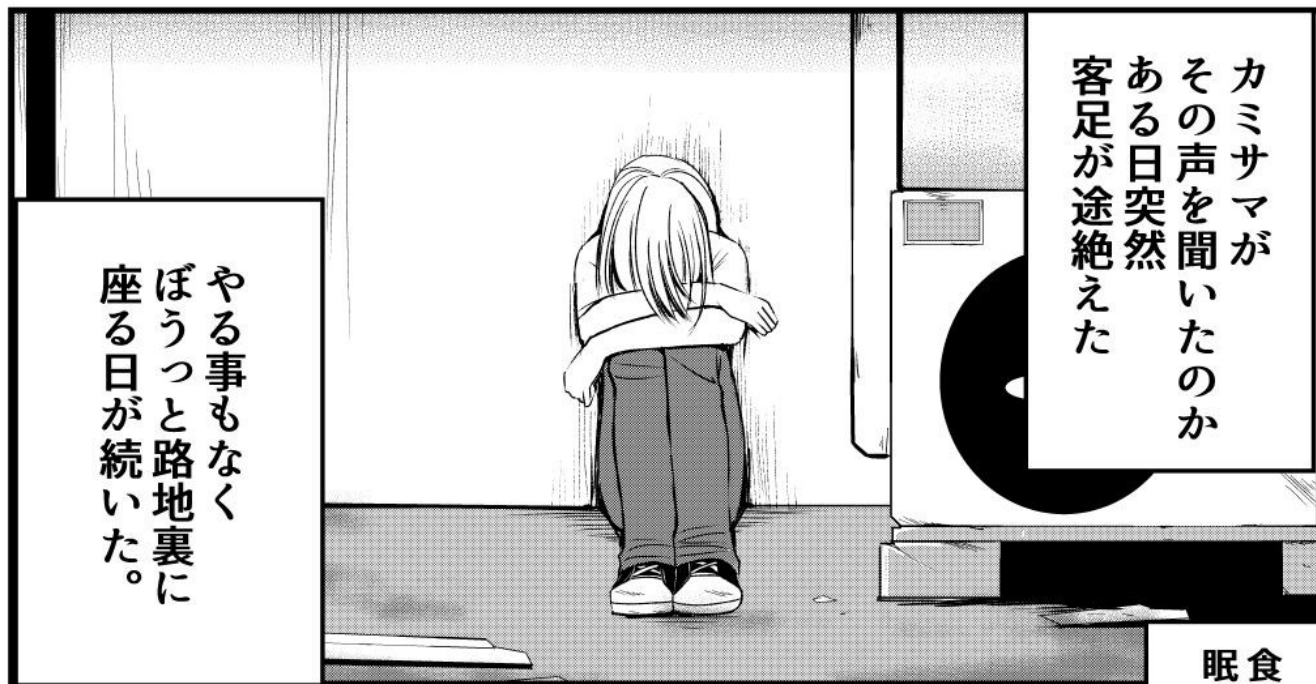
食事と寝床の
代わりに身体を
重ねるのが鬱陶しい。



早くこの命が
終わって
欲しかった。



苦しいとか
痛いとか
何も無い。



カミサマが
その声を聞いたのか
ある日突然
客足が途絶えた

やる事もなく
ぼうつと路地裏に
座る日が続いた。

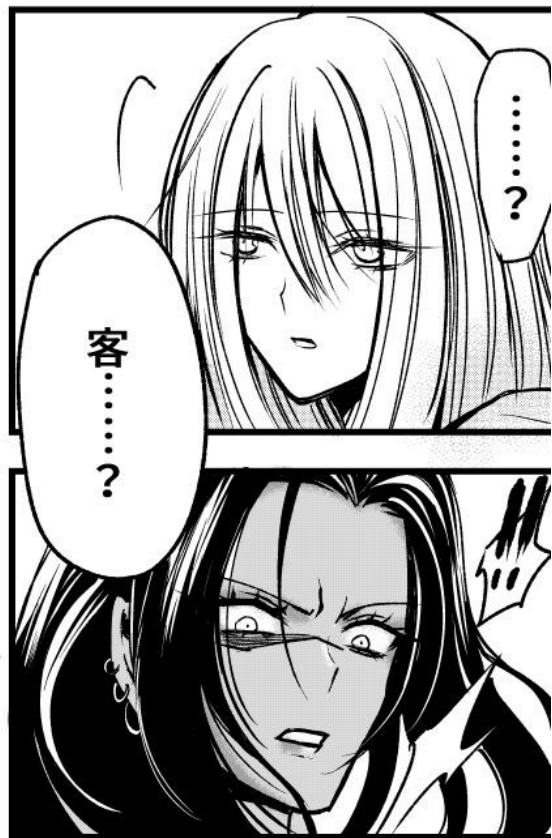
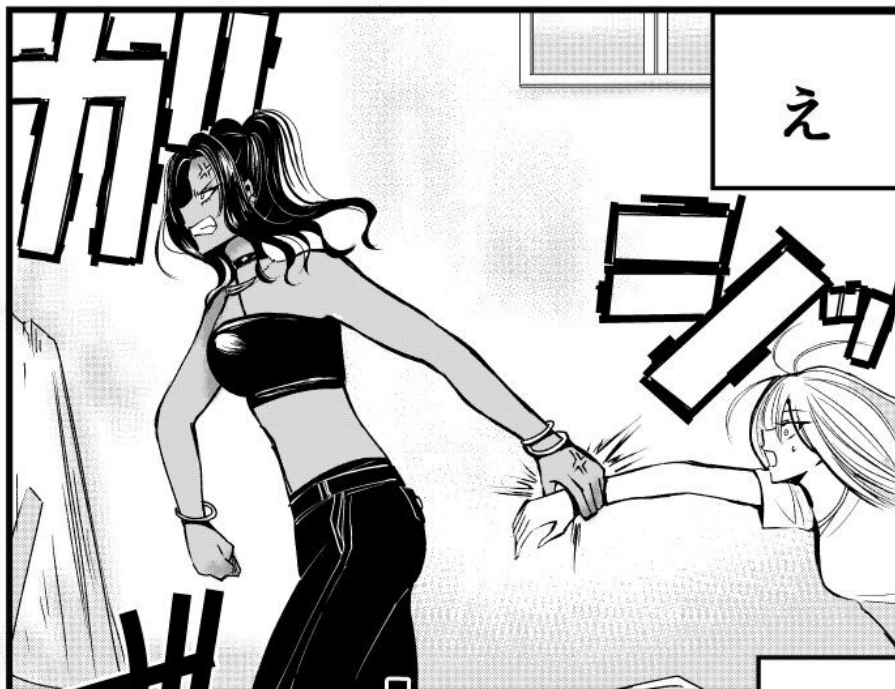
食はず
眠らずにいるのは

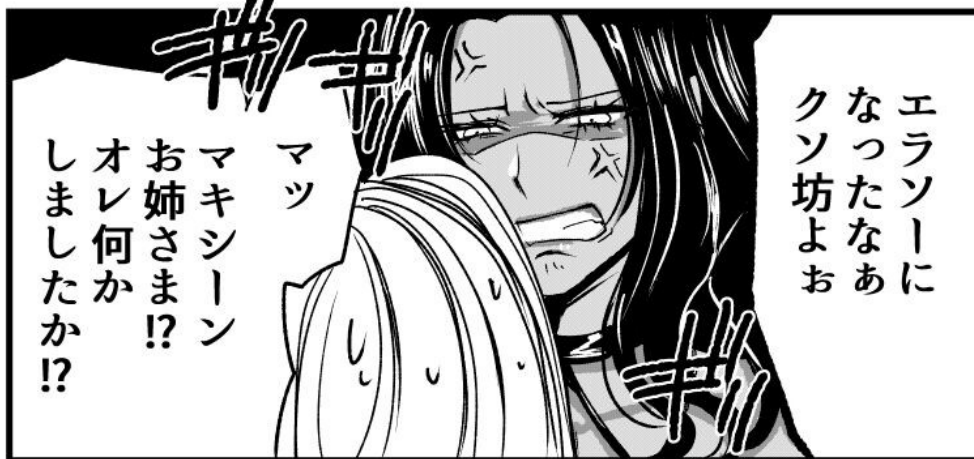
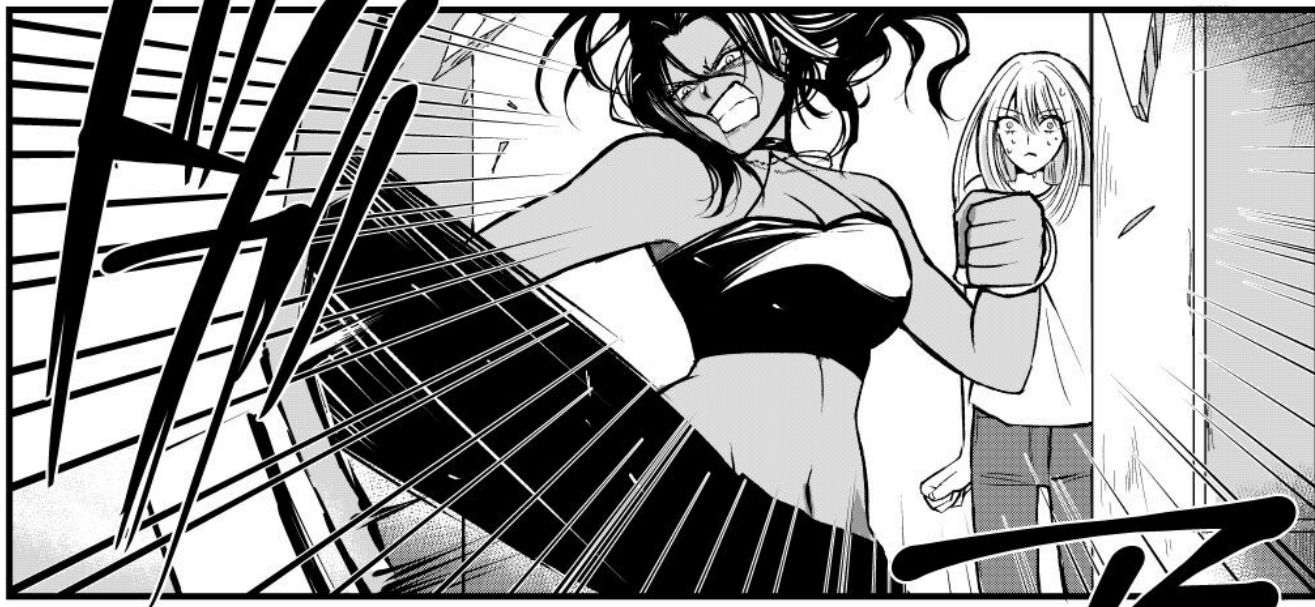
自分に罰を
与えている
ようだったが

余計な作業から
開放されて
とてもラクだった

自分の
姿が

水の切れた
花瓶の花と重なる。



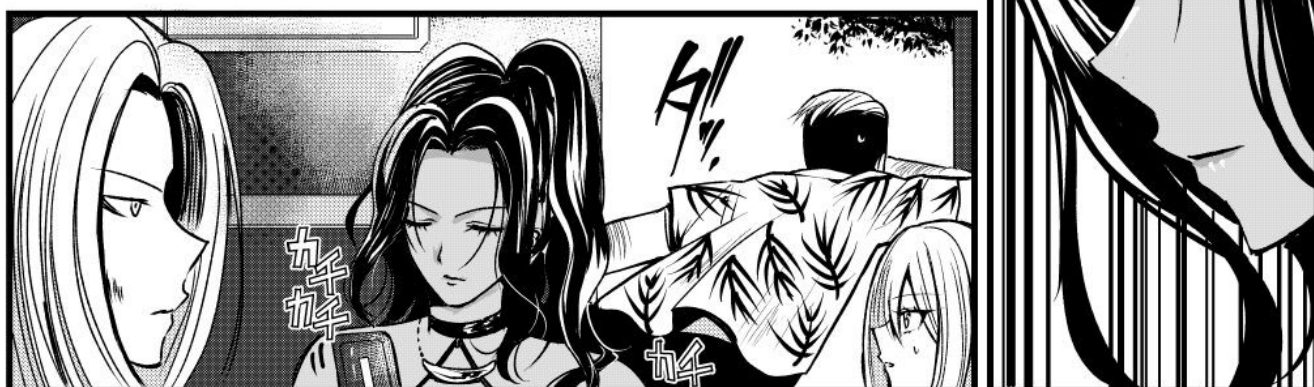


それともあんたが
そのガキの
身請けでもして
くれるんですか？

おい言い過ぎだ
まずいぞ

おれ帰るから。
おれはこの話
知らねえから。

何ビビってんだ
所詮女だろ



入金したぞ
足りるか？
確認してくれ

そうだよな

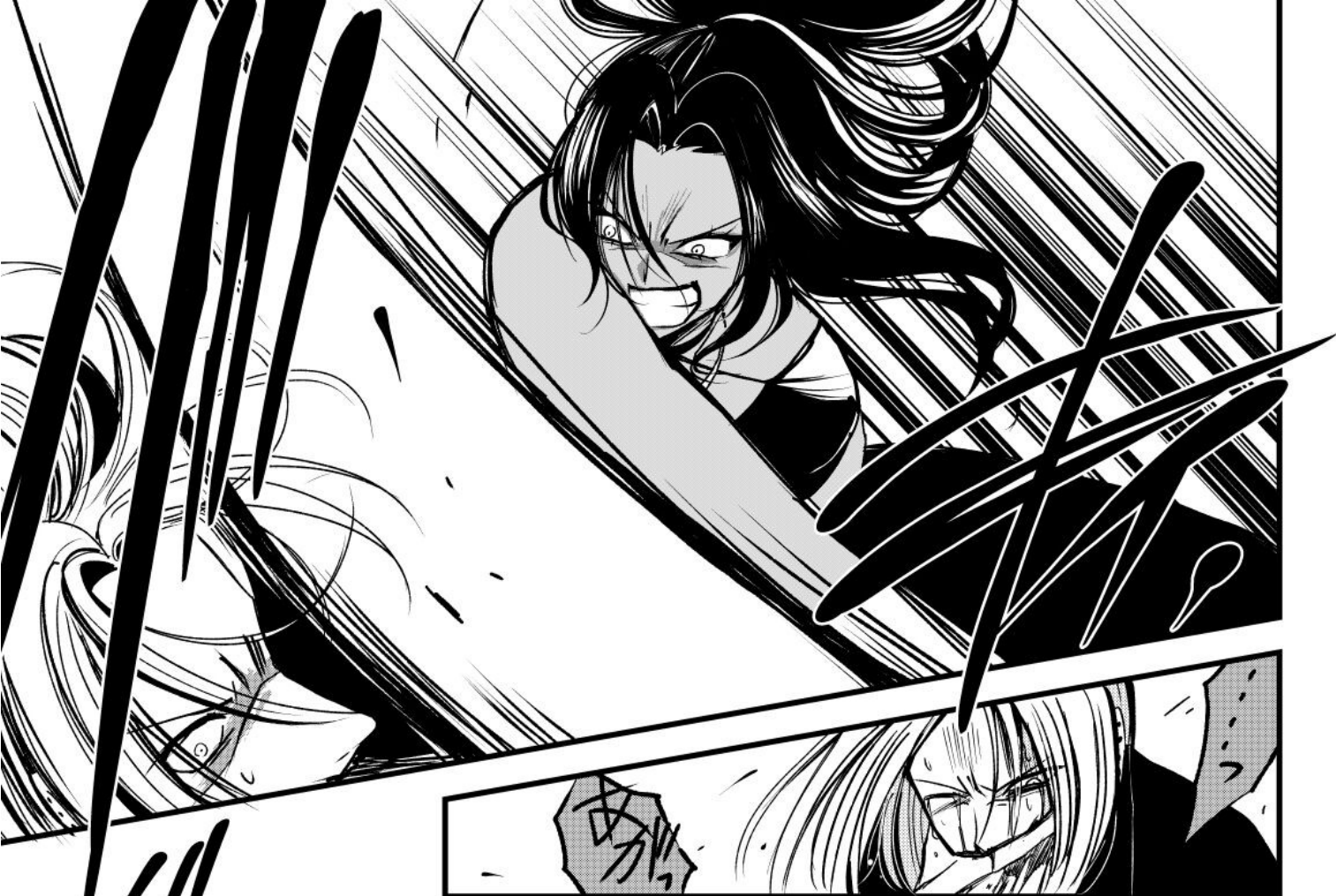
お前の治療費も
入れといて
やったんだ

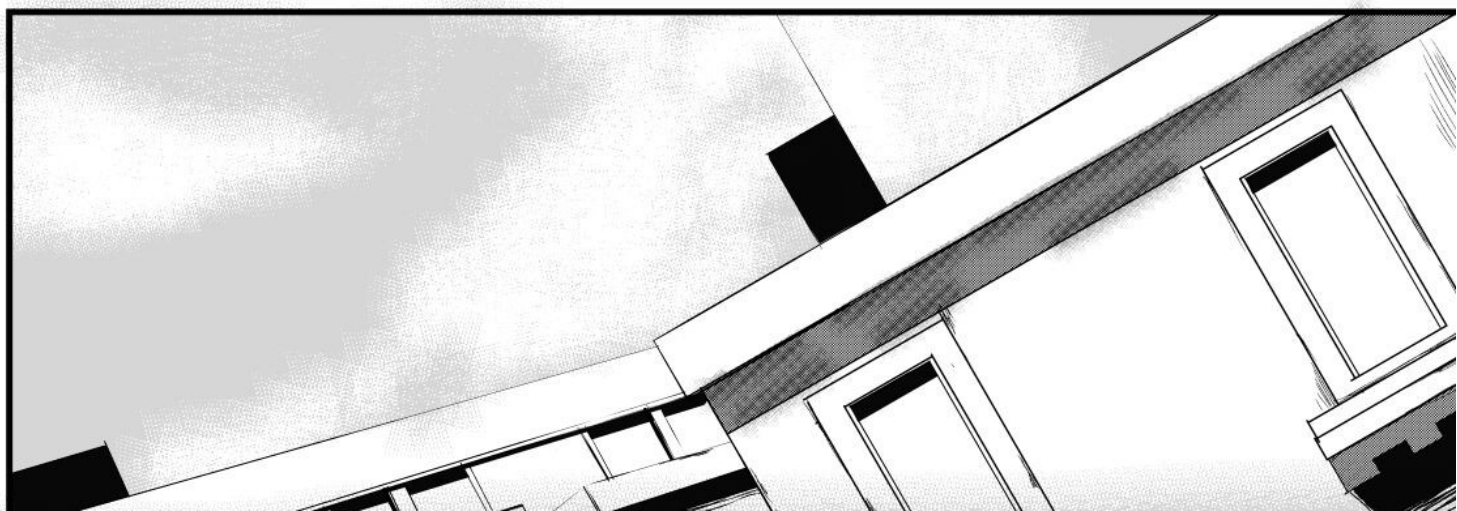
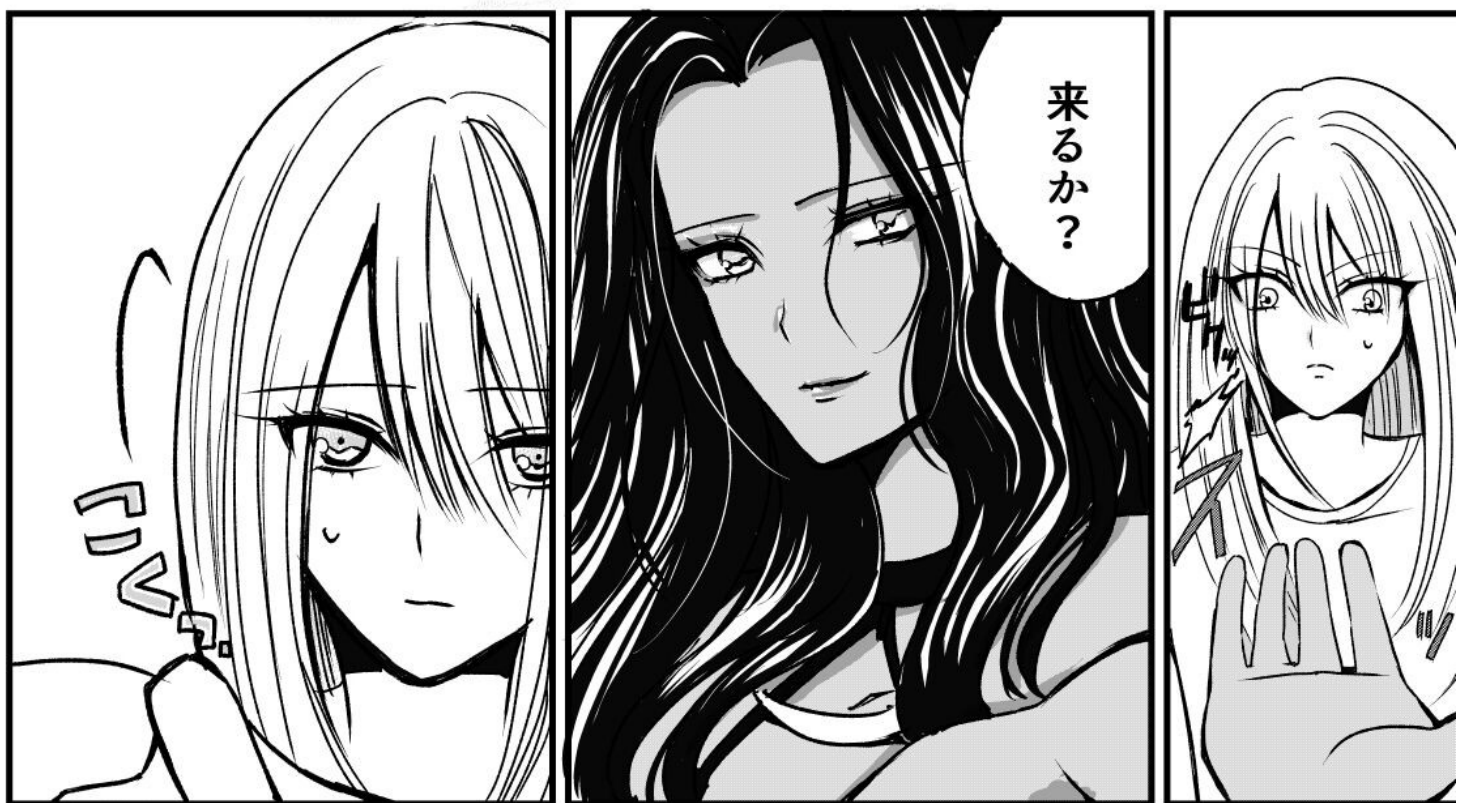
覚悟しろよ

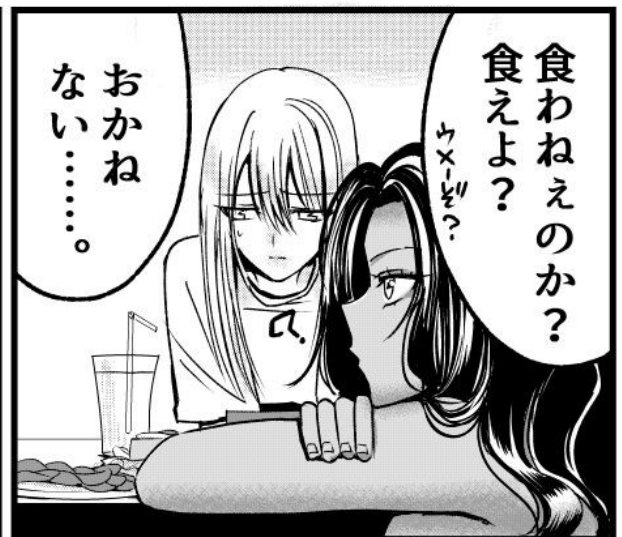
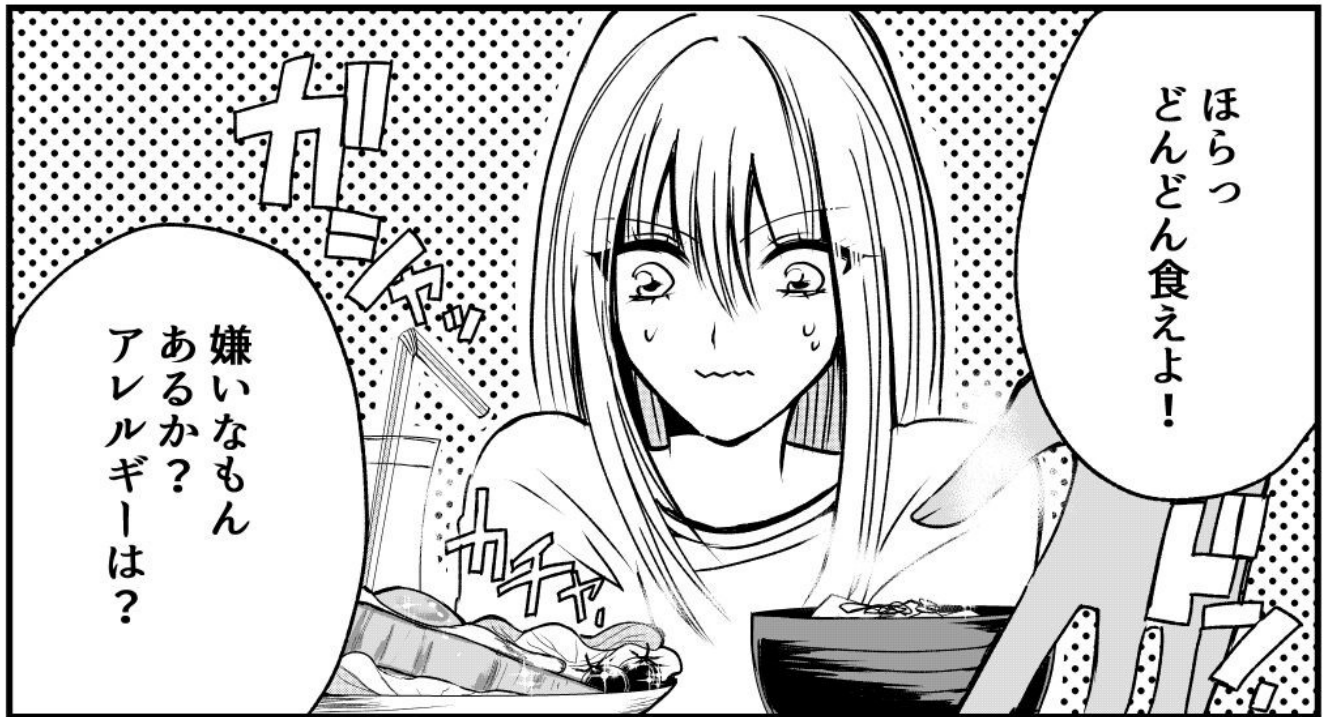
あ、ああ。
これだけ
ありやいい。

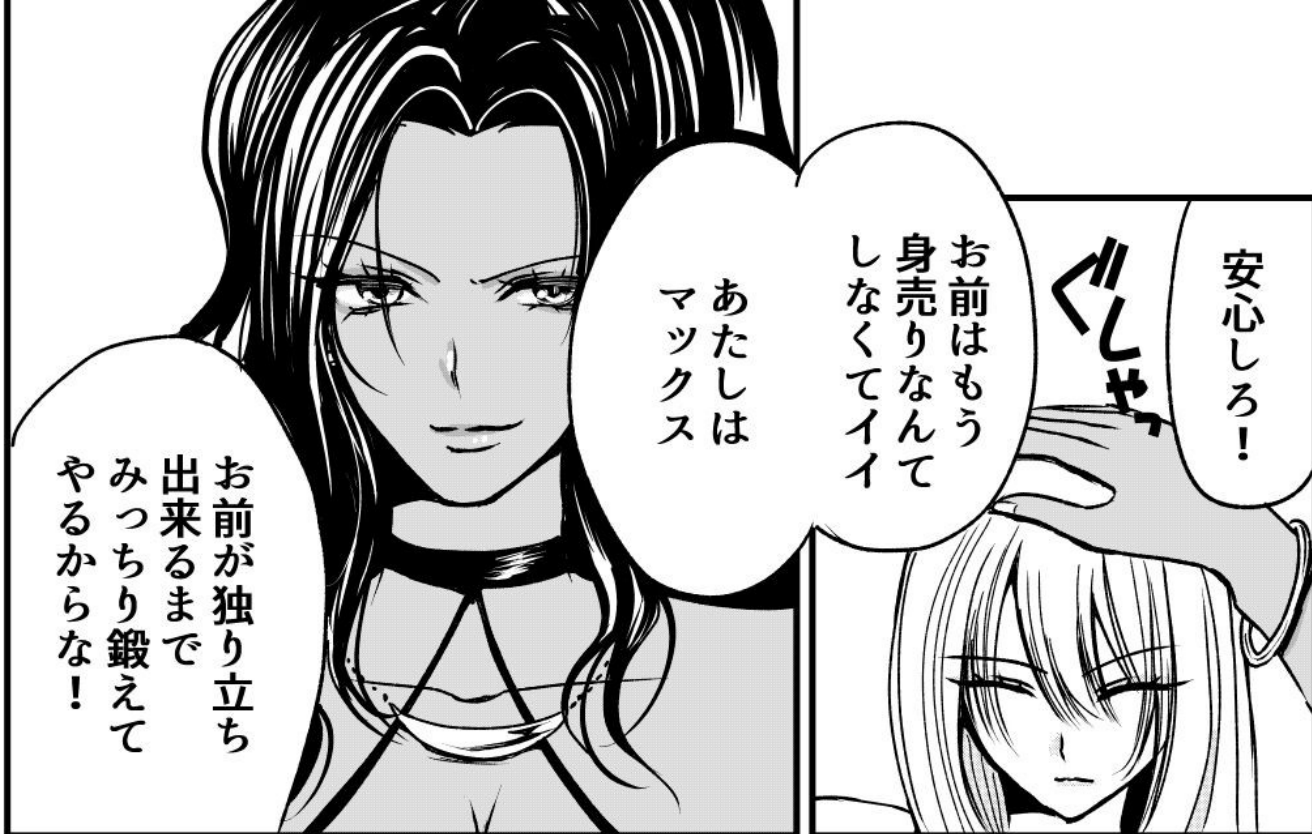
!?

え









安心しろ！

ぐしゅ

お前はもう
身売りなんて
しなくてイイ

あたしは
マックス

お前が独り立ち
出来るまで
みっちり鍛えて
やるからな！



この女に
買われた
のかな……？

??

……
??



また死ねなかったけど
この人の家は
安心するな……。

温かくて
ふわふわして……

久しぶりに
すごく眠い――。

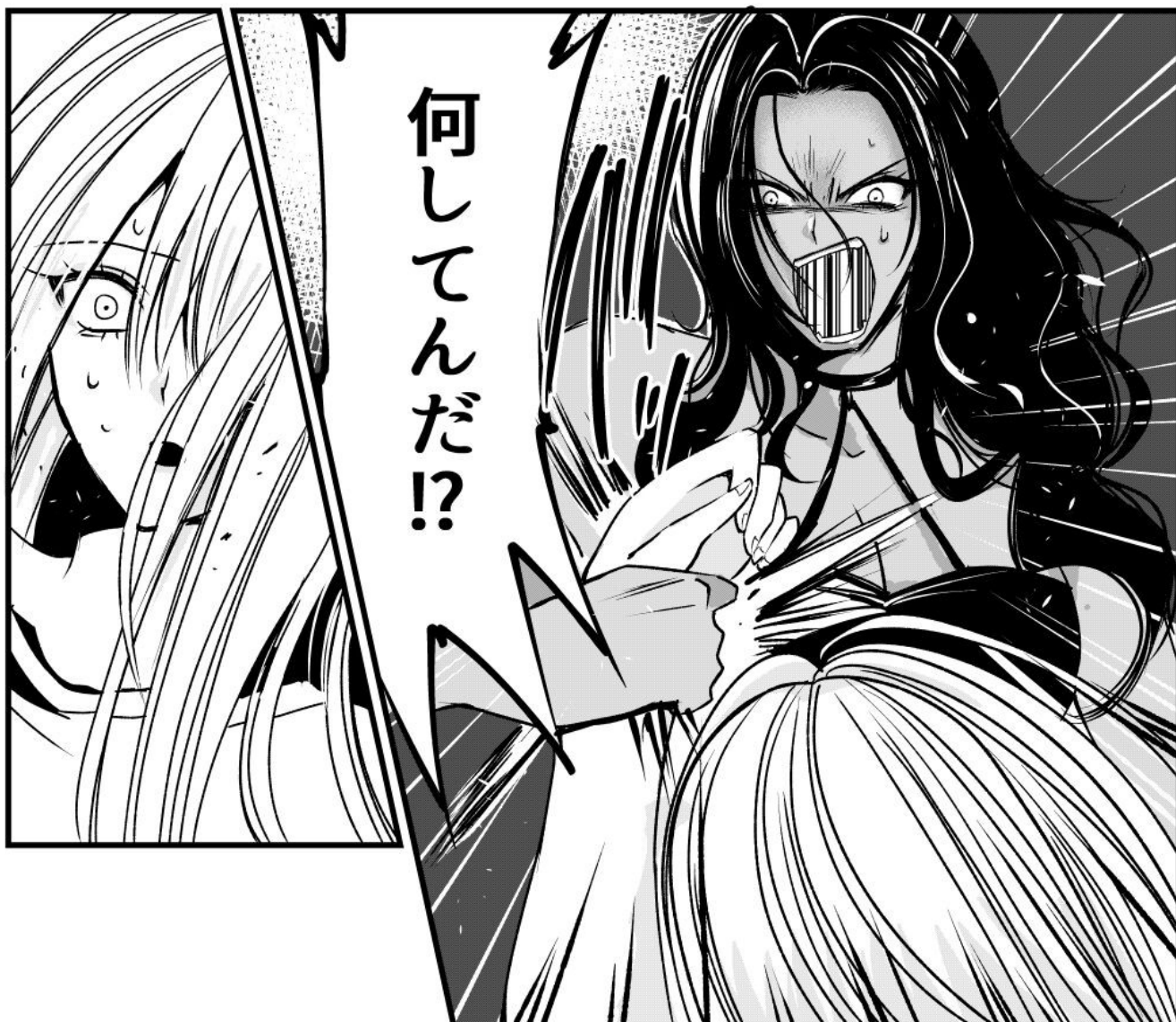


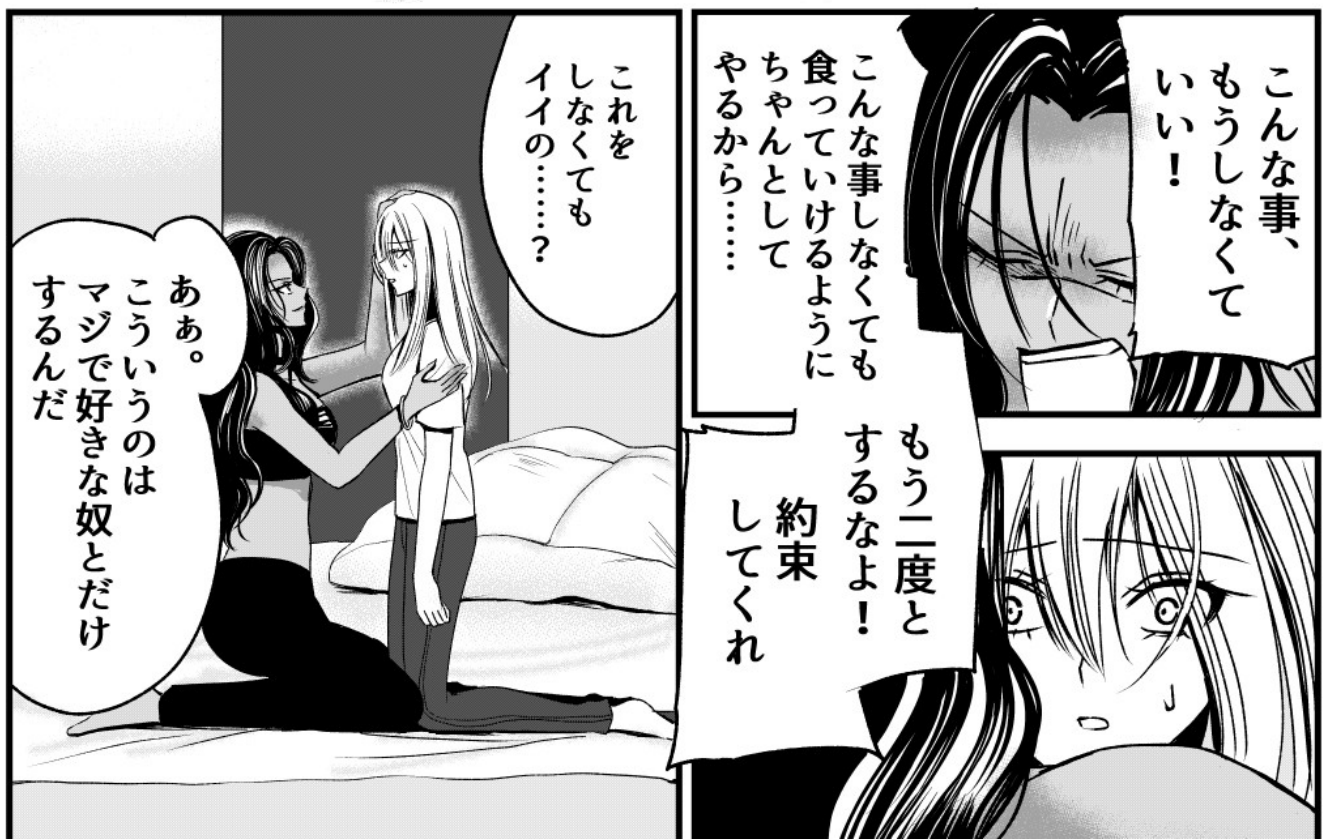
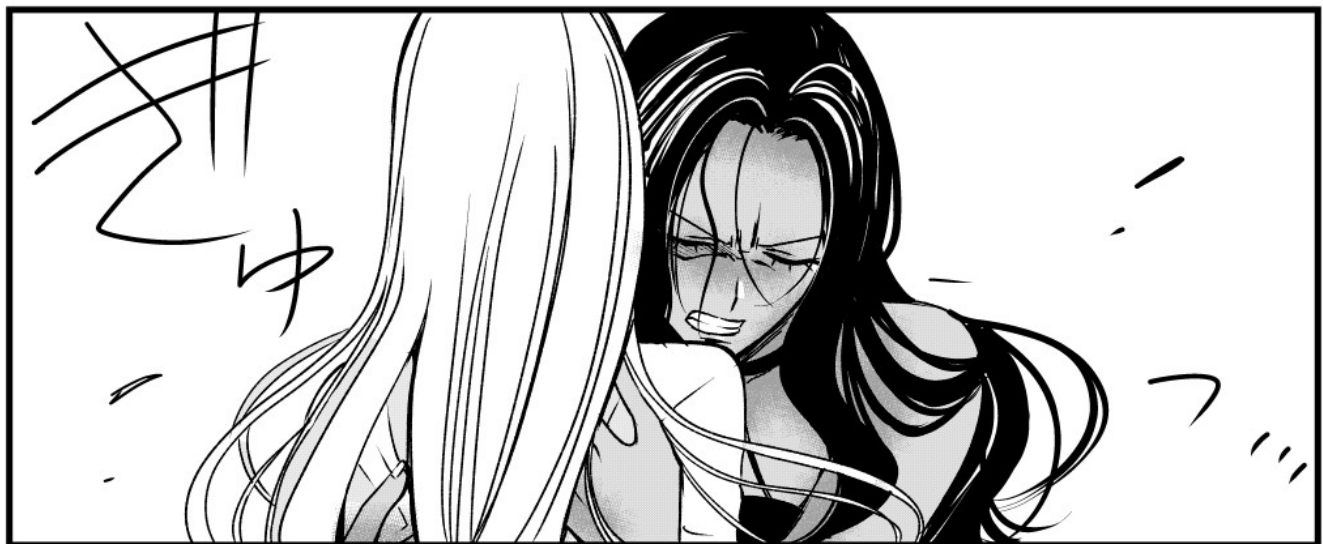
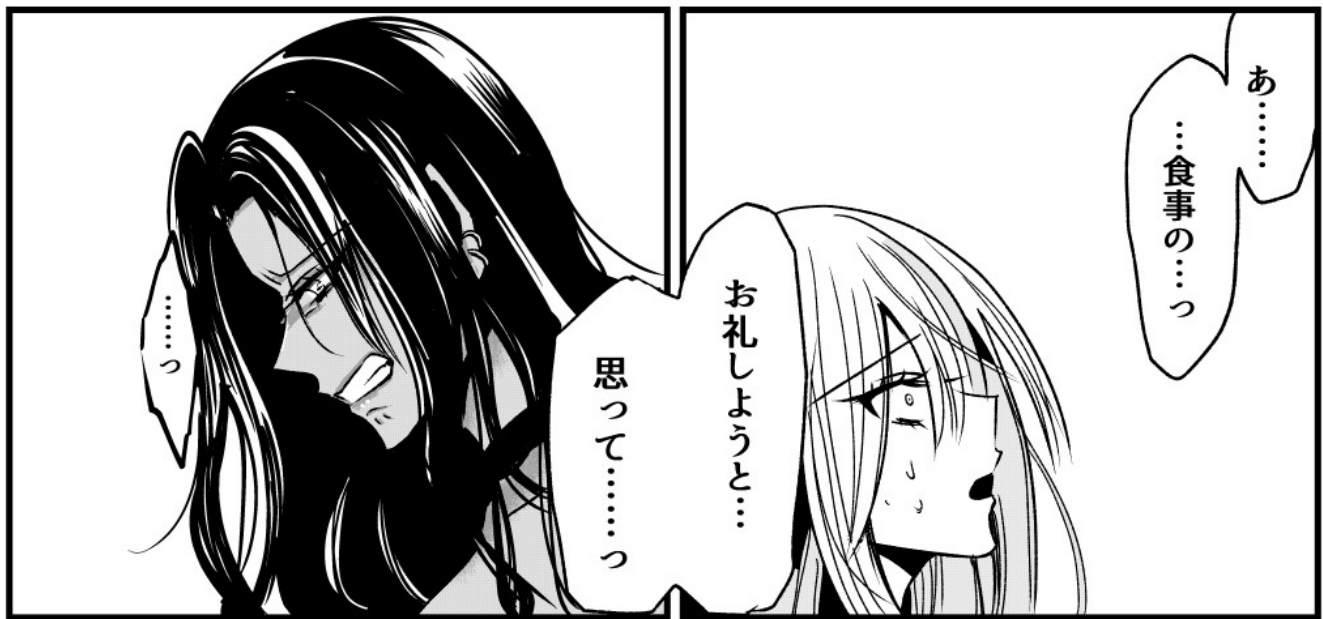
何でこんなに
良くしてくれる
んだろう。

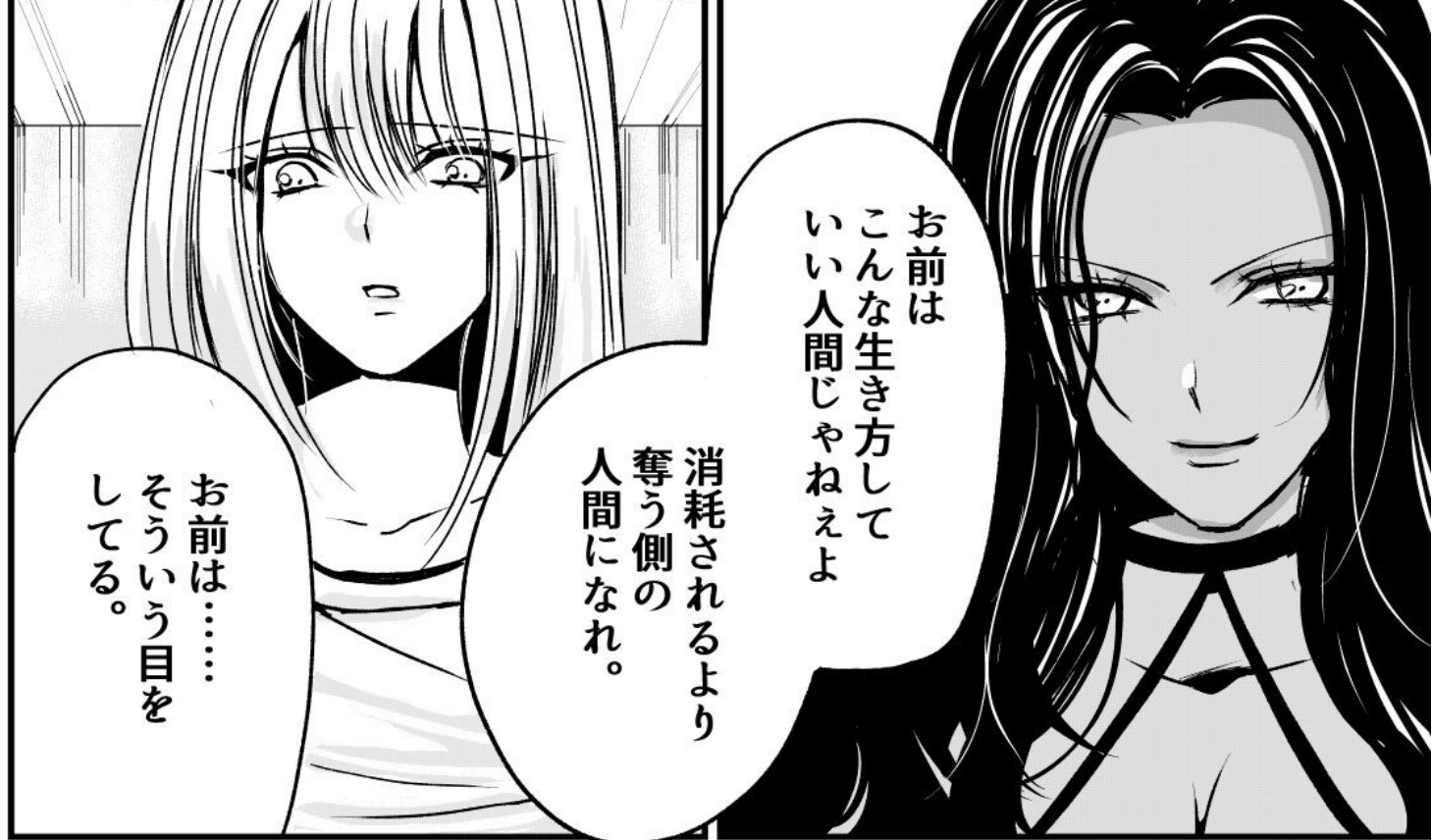


あたしみたいなのを
傍に置くのは
やっぱり











アレクサンドル…。

……。



えっ

今日ただけだぜ？
明日から
一人で寝ろよ

えっ



そーいや
お前
名前は？



そーか
じゃあ
アレクだな

おやすみ
アレク

久しぶりに

名前で呼ばれた――

その日から
毎日が変わった。

性と空腹の
毎日から、
人間らしいって
いうか

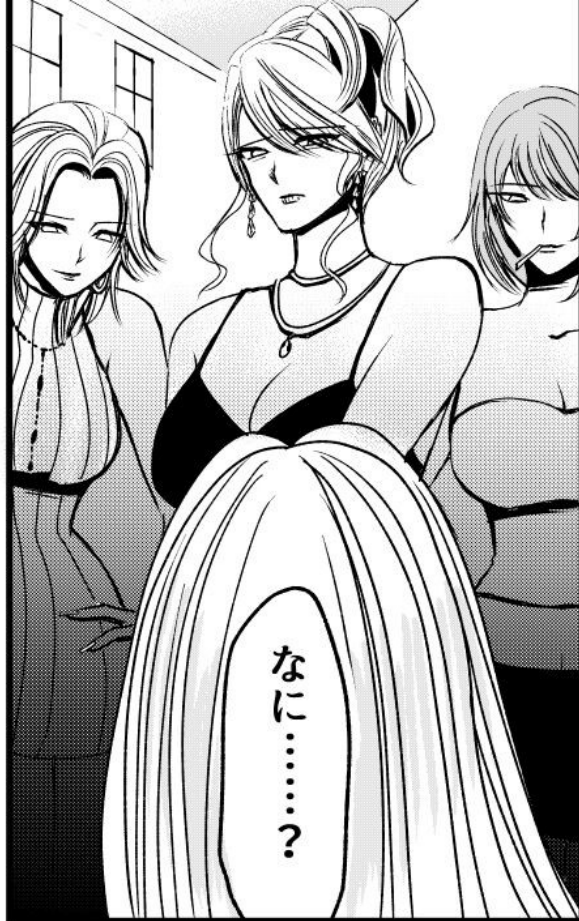
???

洗濯とか掃除とか

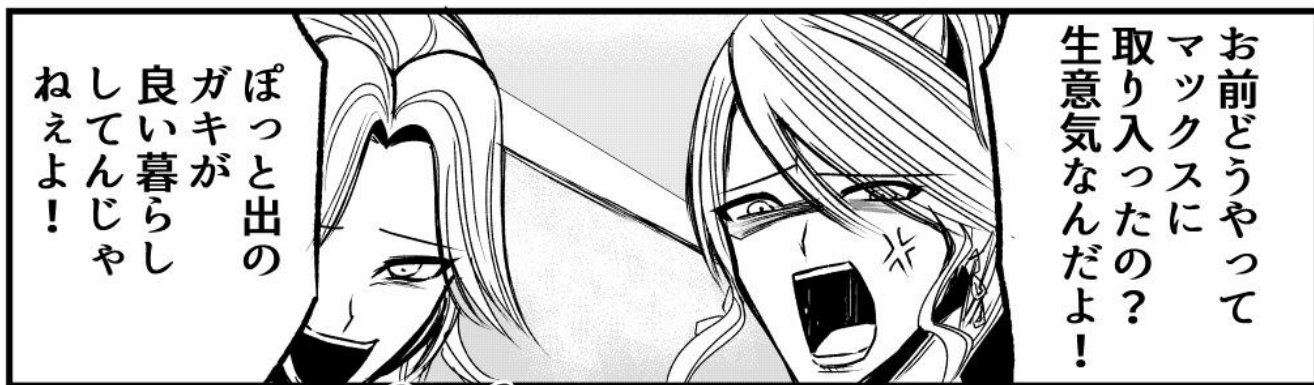
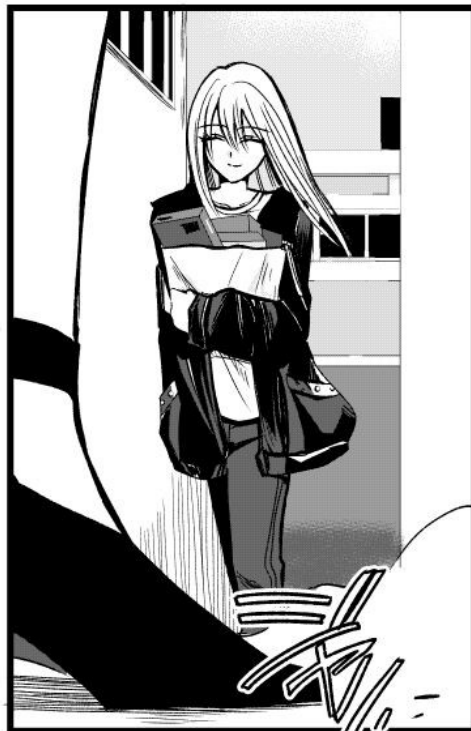
料理だけは
どうしても上手く
出来なかったけど

マックスと過ごす
毎日がとても
楽しかった

家族が出来た
みたいだと
感じた――。

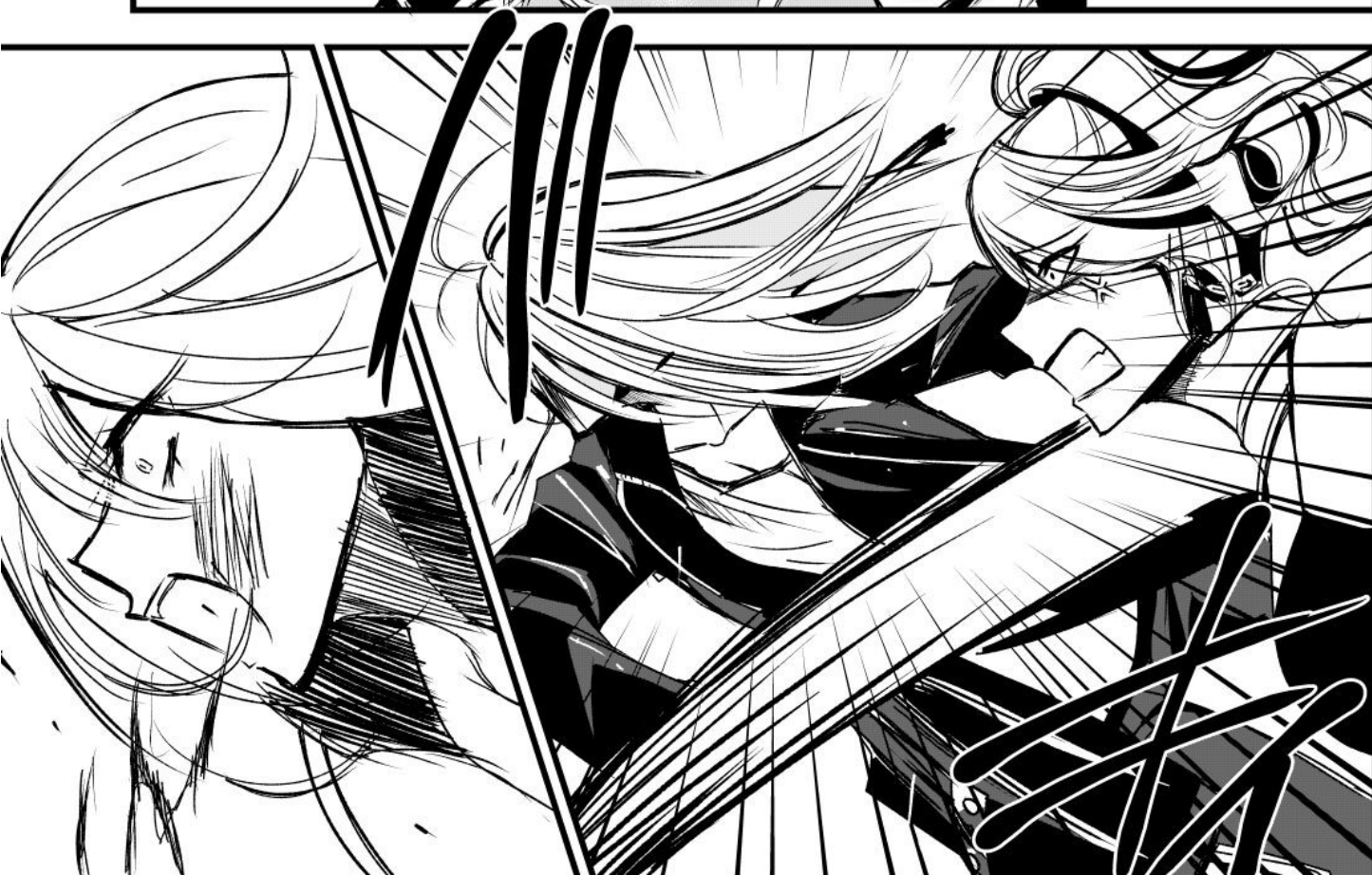


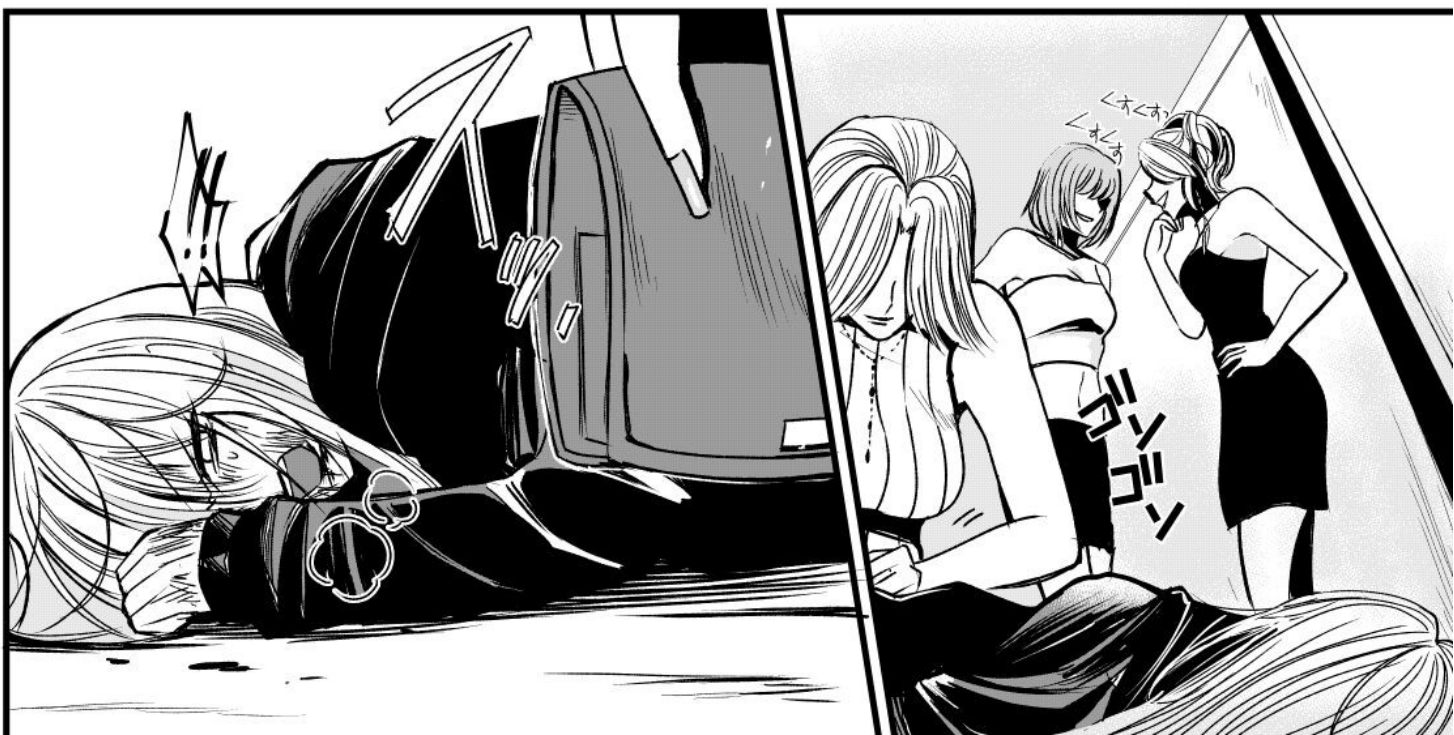
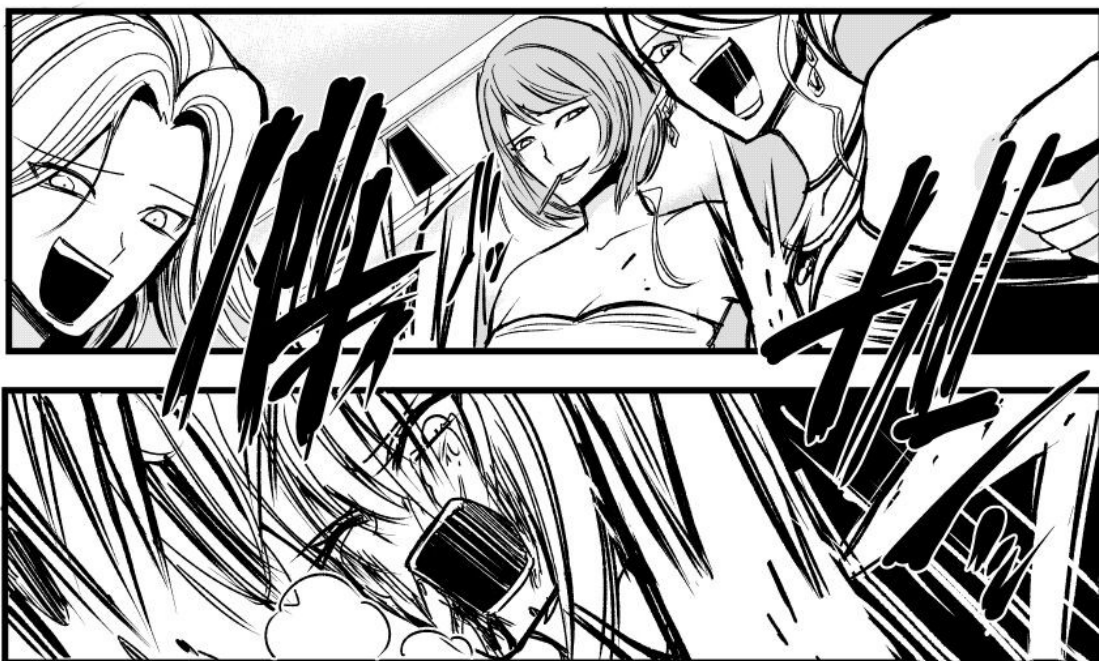
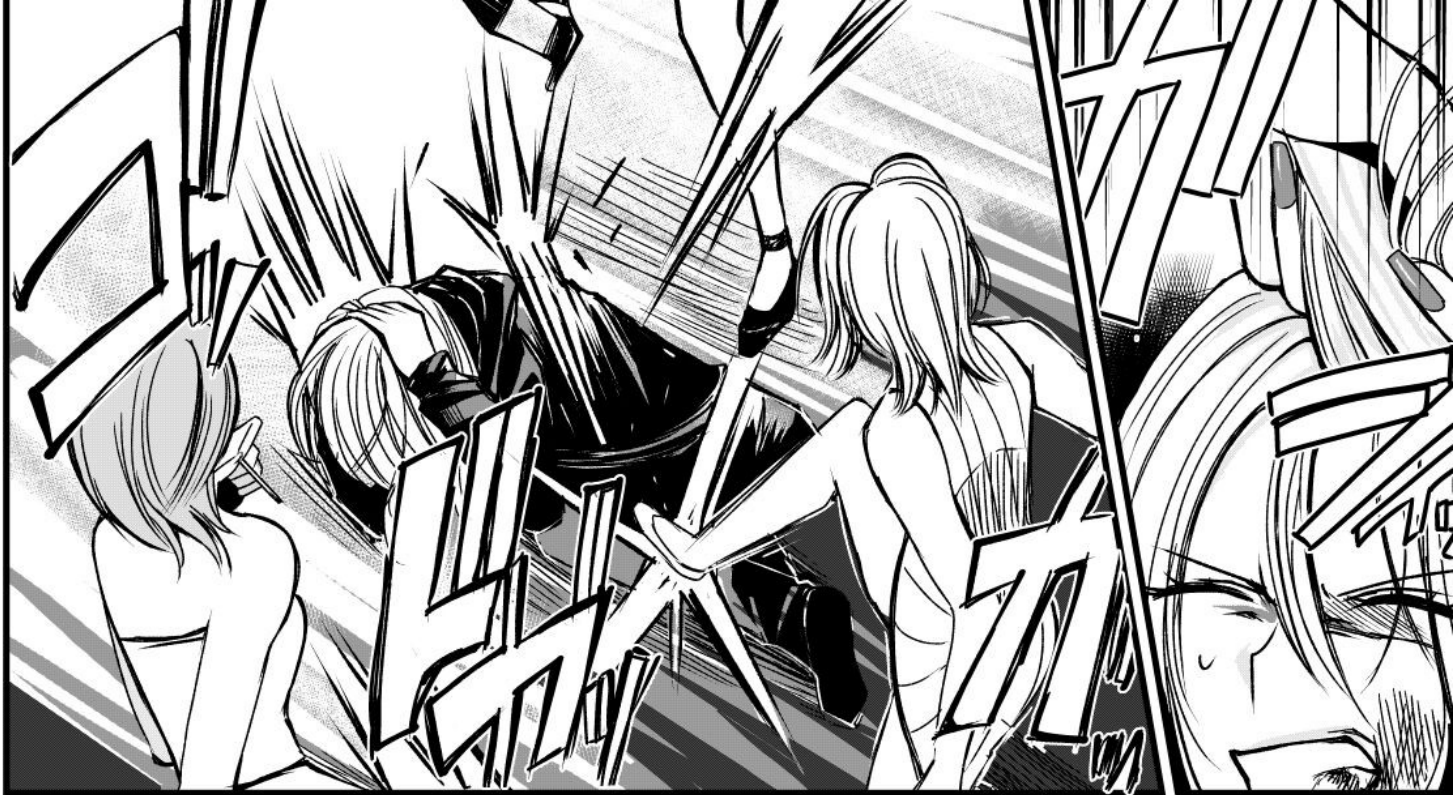
なに……？

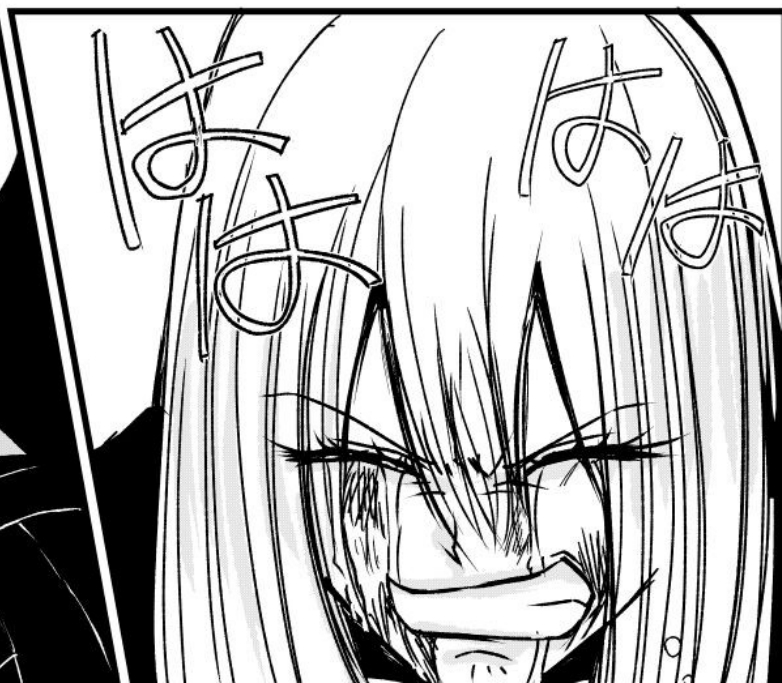
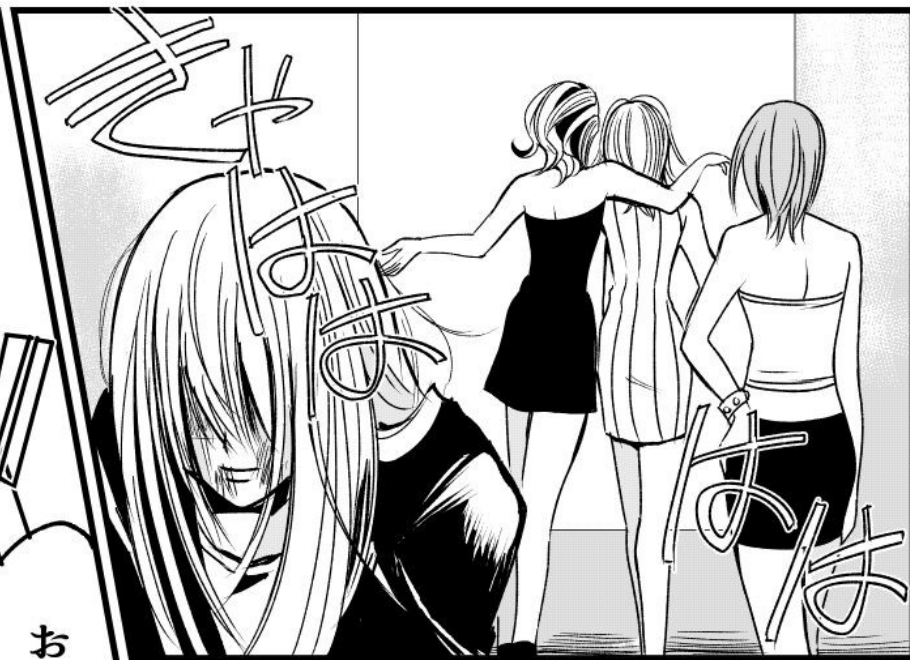
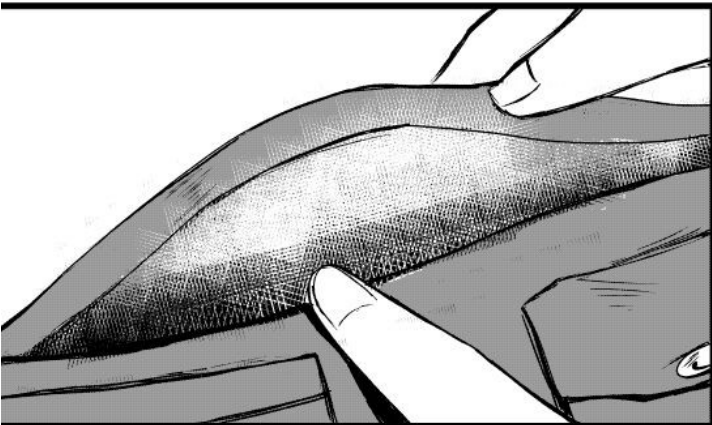


お前どうやって
マックスに
取り入ったの？
生意気なんだよ！

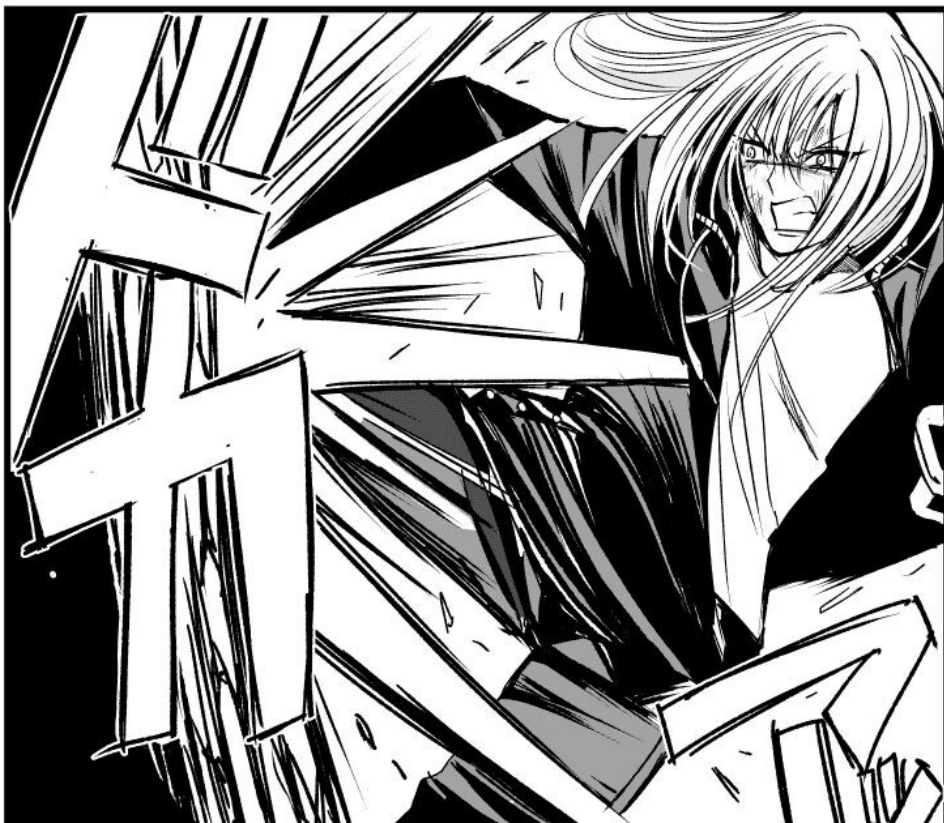
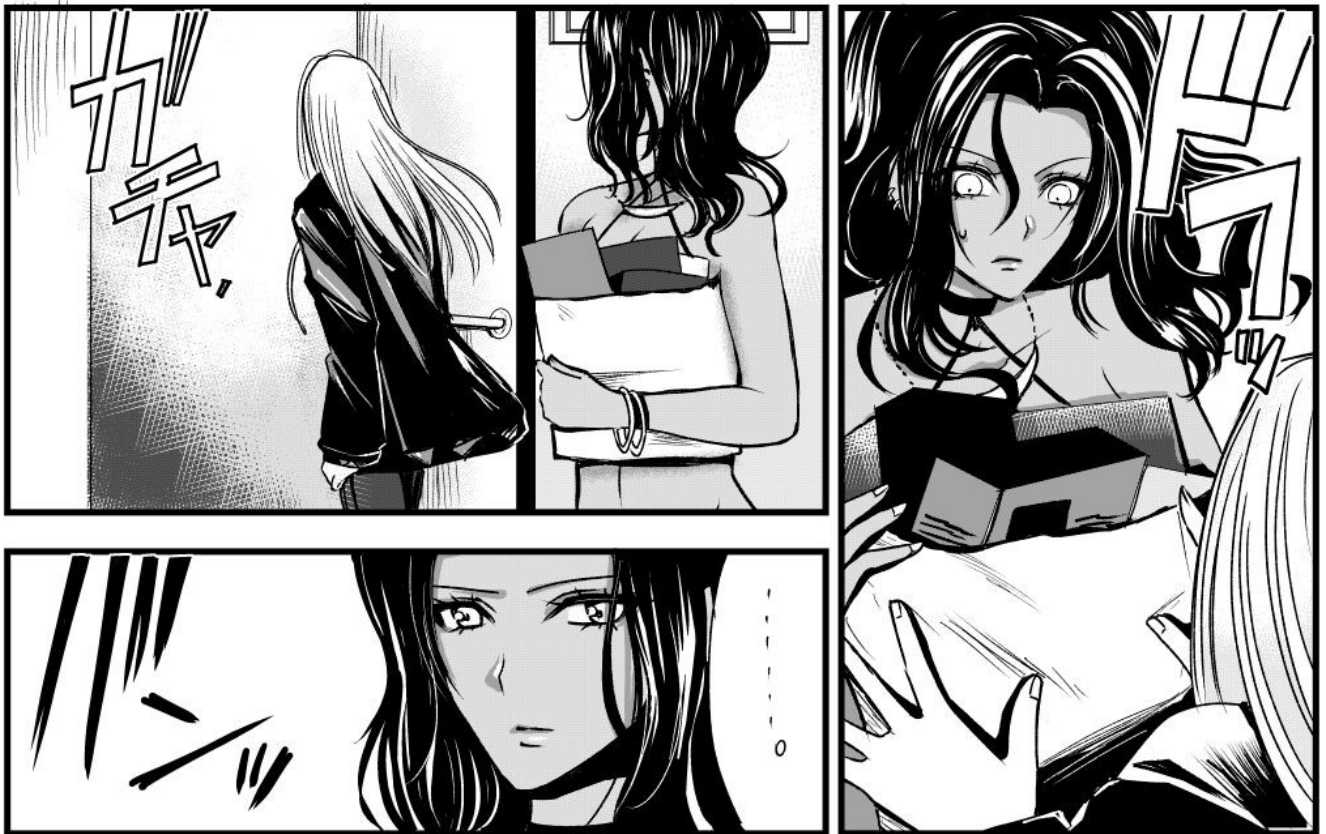
ぽっと出の
ガキが
良い暮らし
してんじゃ
ねえよ！





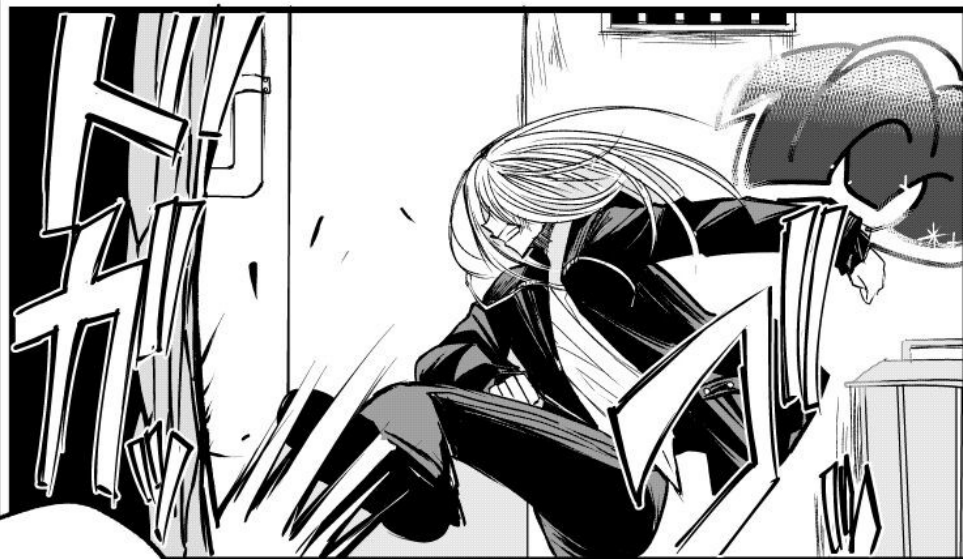


随分遅かったな？
食材ちゃんと
買えたか？



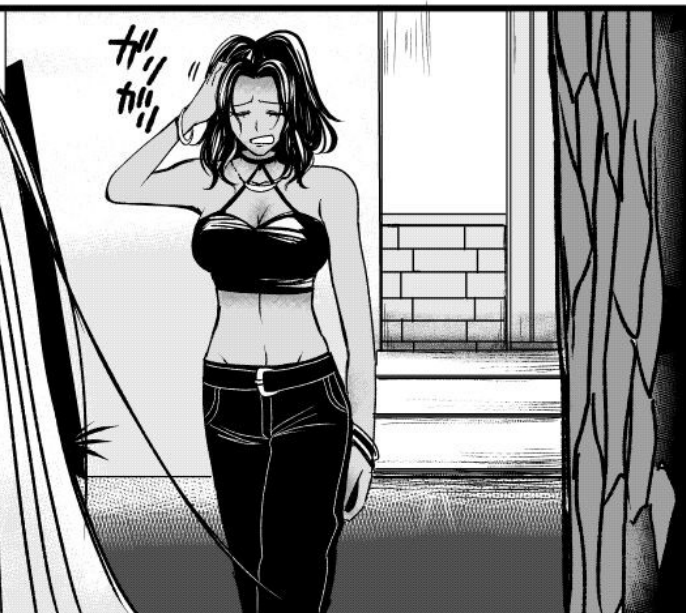


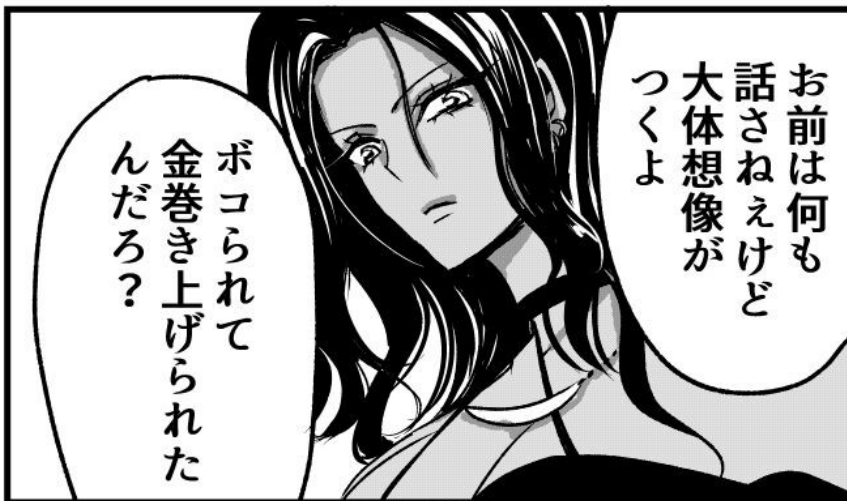
はあーっ…

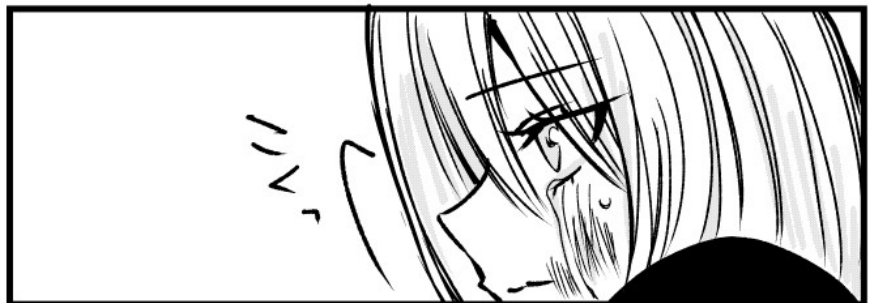
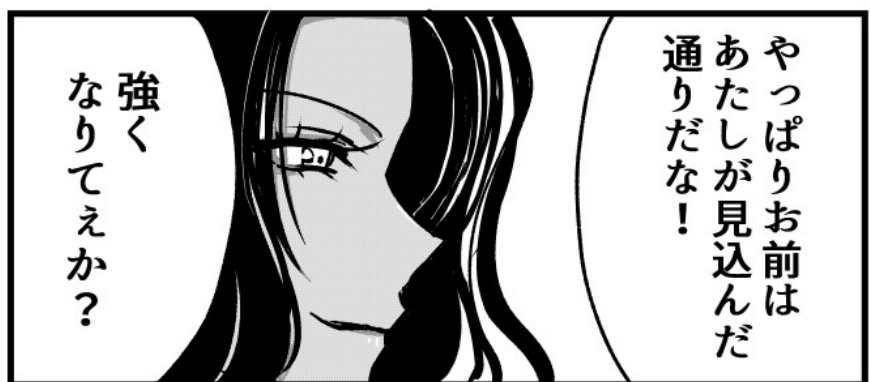
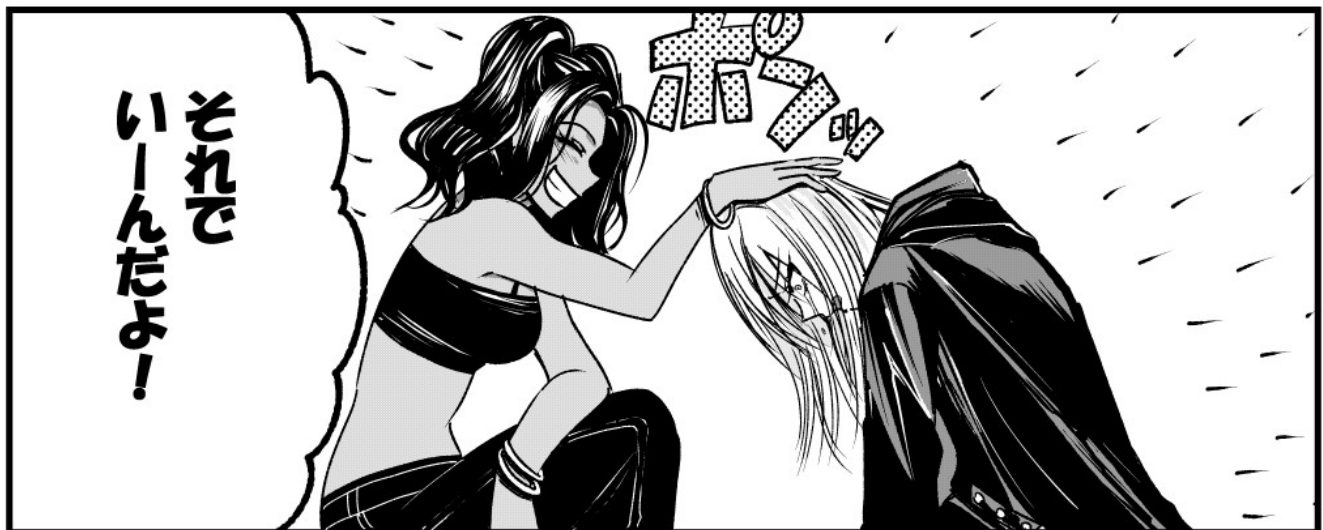


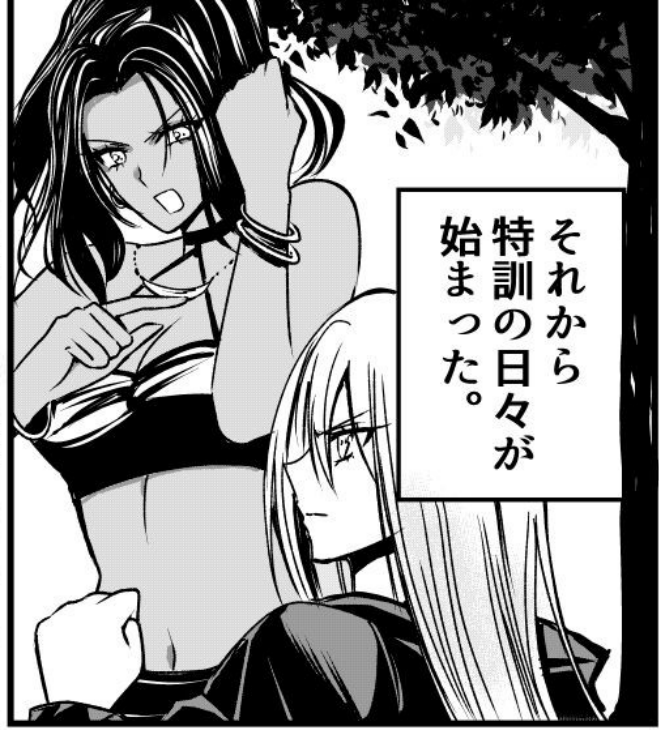
全然
成ってねえなあ

そんなんじや
誰にも
勝てねえよ









それから
特訓の日々が
始まった。



毎日毎日
手の空いた時間に
マックスがアレクに
喧嘩の仕方を教えて



自発的に
力仕事もこなし
アレクは
変わっていった



悔しさと生きろ！

オラアツ

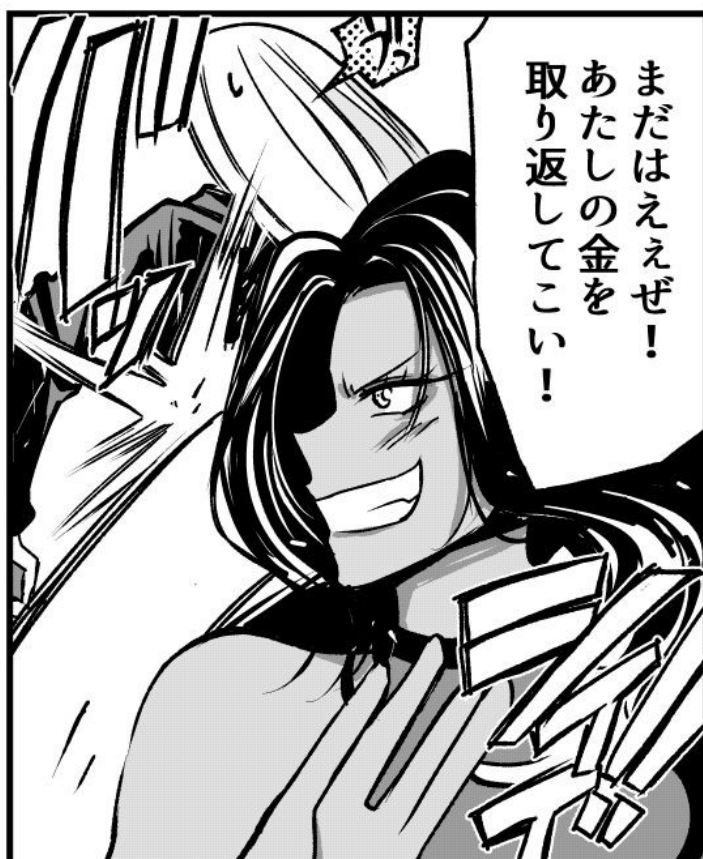
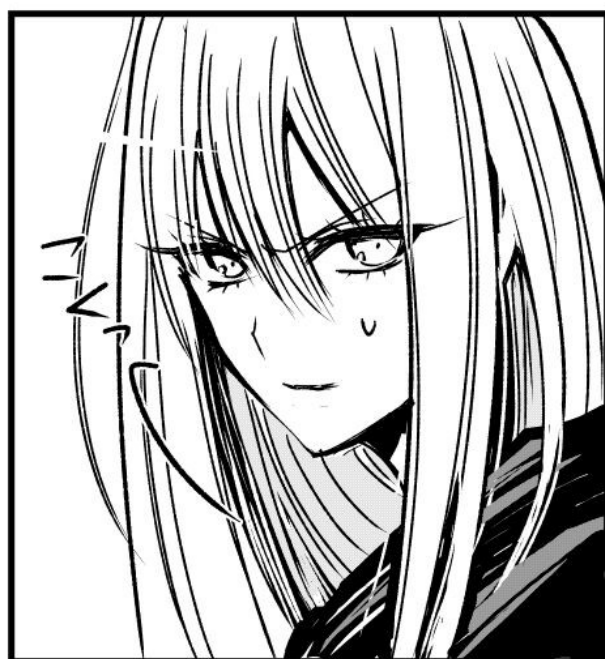
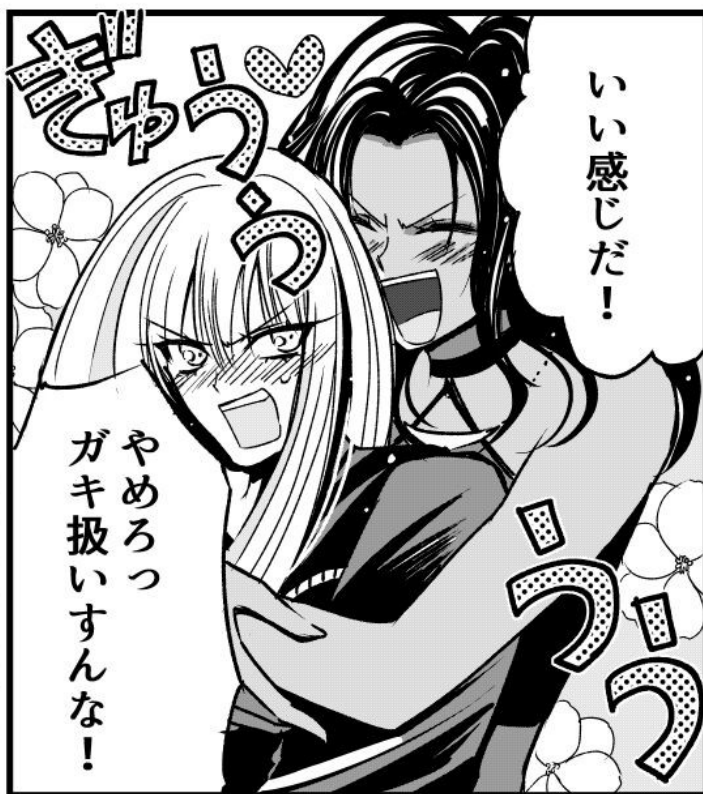
いつまで
転がされてんだ？

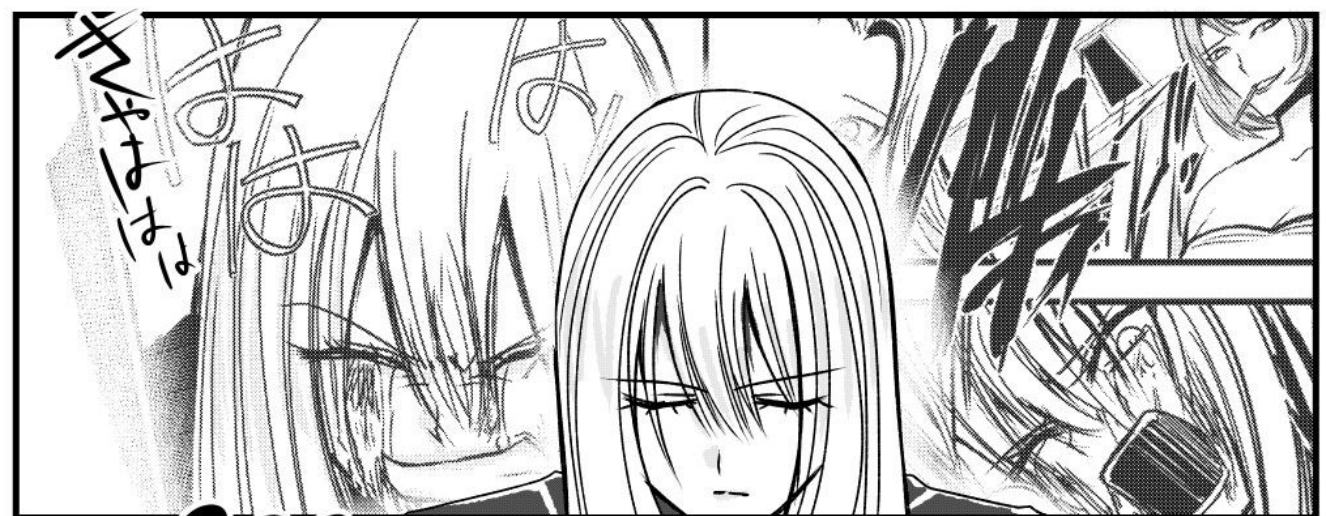
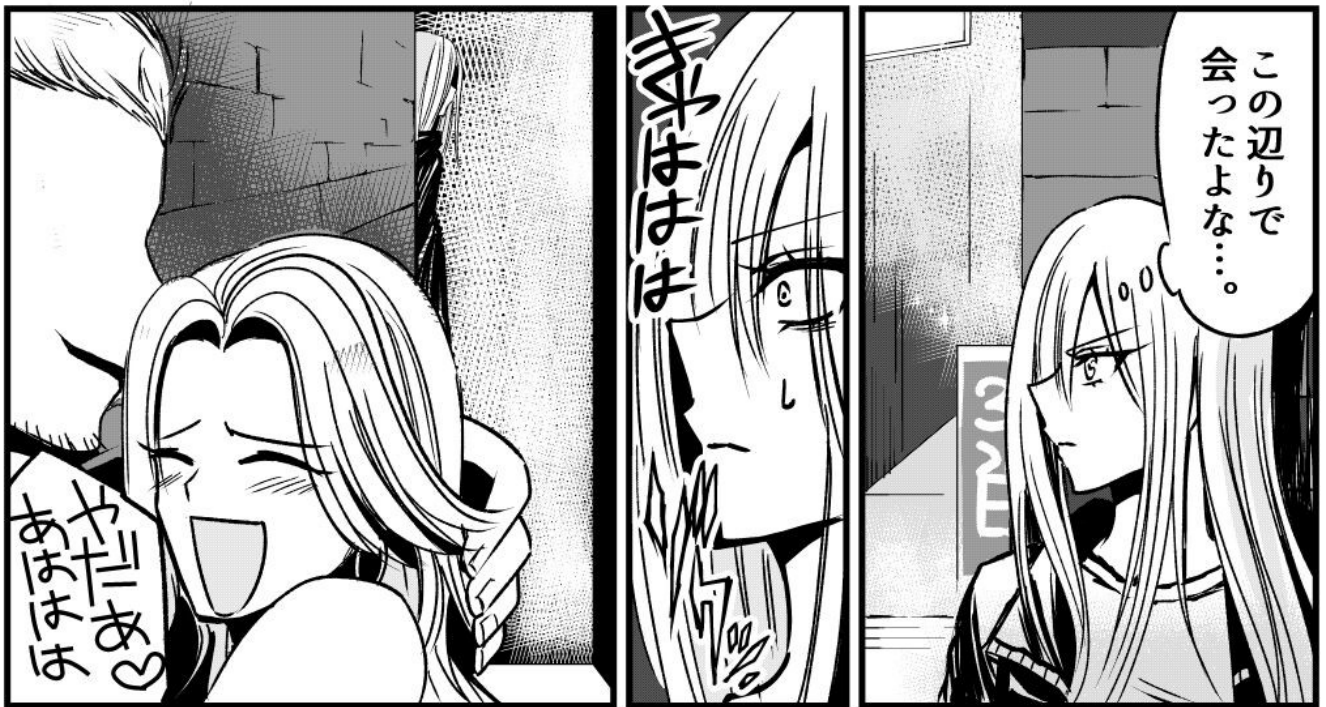
……っ！

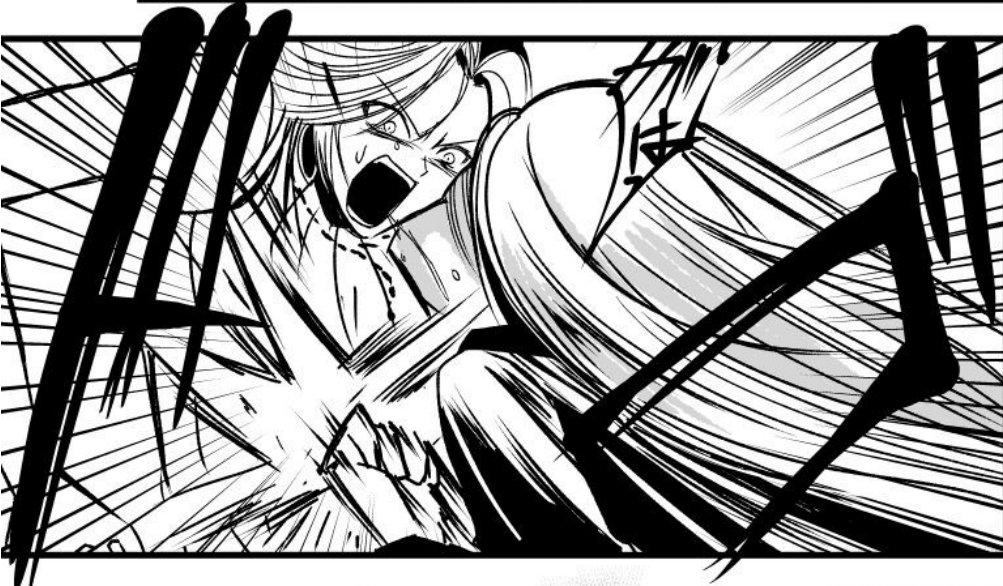
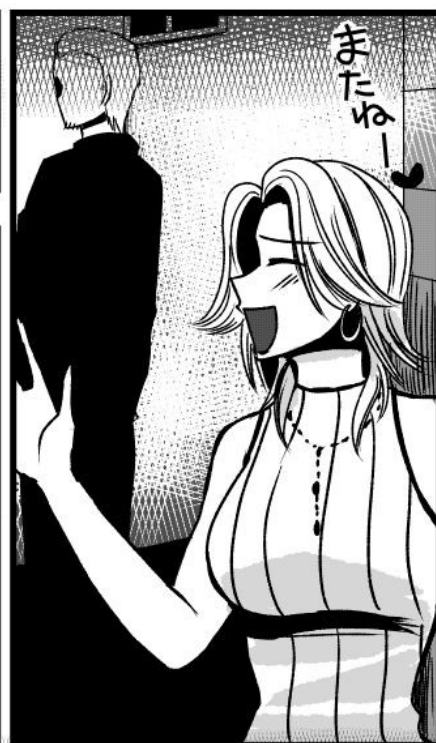
そんなんじや
ダセエまんまだろ！！

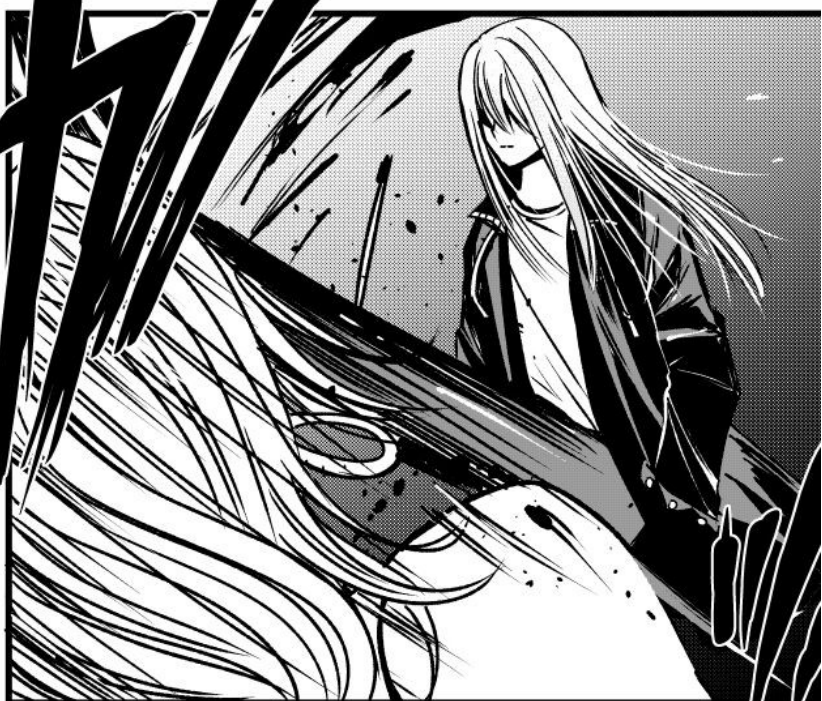


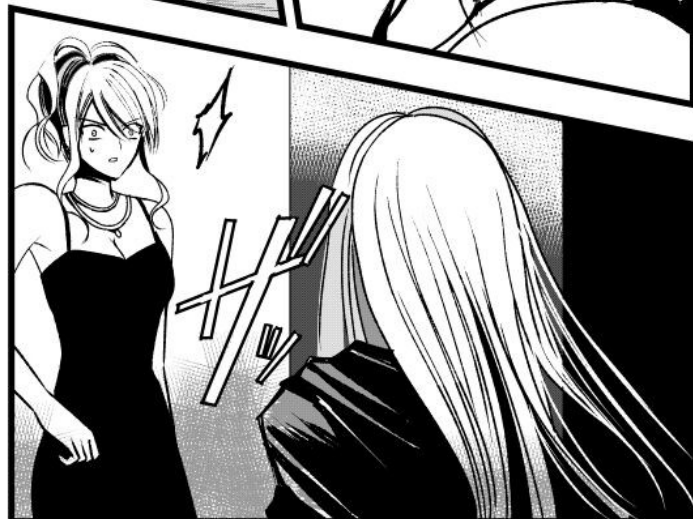
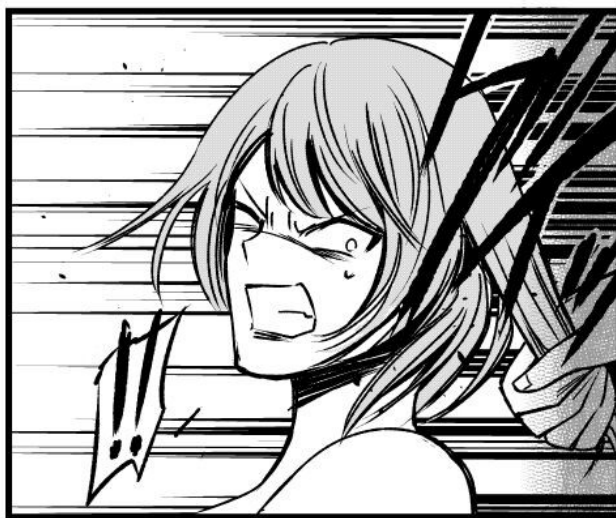
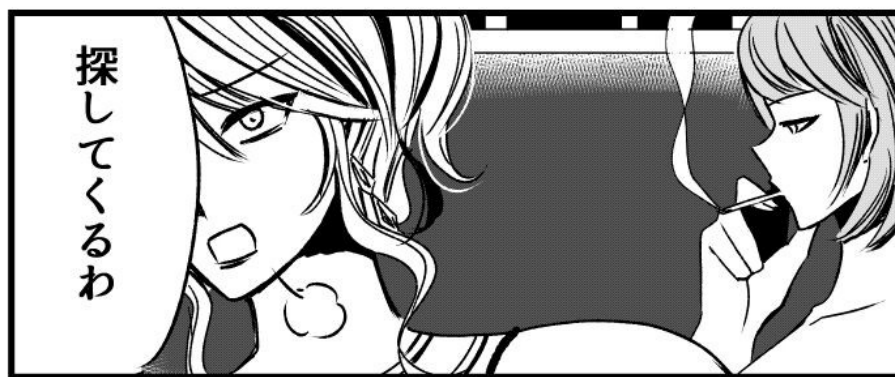
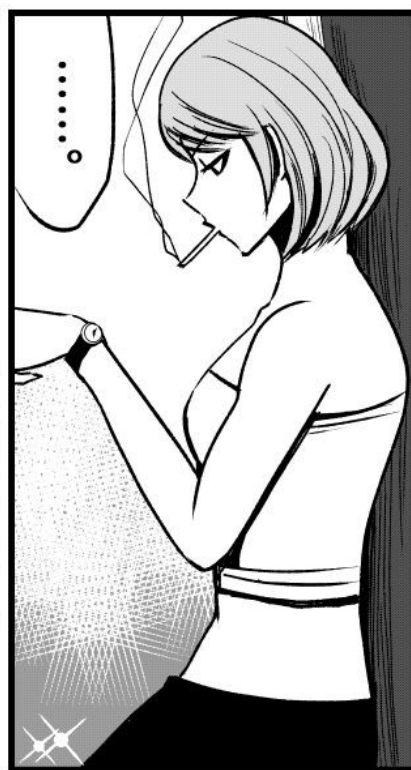
オラアアアアツ！！











よう

!!
てめえ

マックスの
所のガキ!?

また金でも
取られに
来たのかよ!?

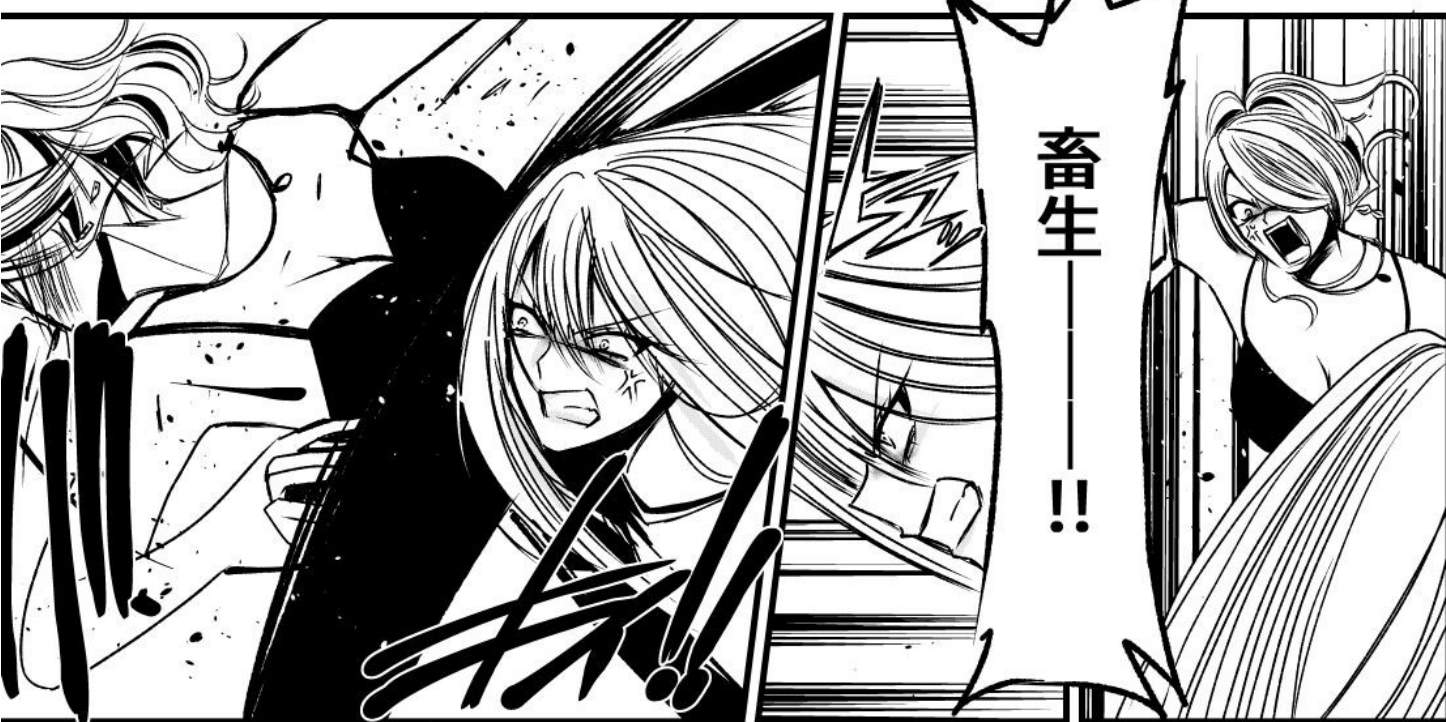
ガキが来る
所じゃねえぞ

そうだな

結構稼がせて
もらった

はあ?
頭狂ったか?

おい
みんな
こつちだ!!



楽しい。

消耗されるより
奪う側の人間になれ

この日から、
本来自分が
立つべき場所に
立てたような
気がした――。

この腕で
ここから
這い上がって
みせる。

そしていつか
あの日の自分と
同じような奴に
逢ったら

マックスから
もらった
この楽しさを

そいつに
分けてやりたい。